

活動期間:2020年1月~12月

環境経営レポート 2020年版



作成日 2021年4月15日

CONTENTS

はじめに	P2
1. 組織の概要	P3~P6
2. 組織の主な取り扱い商品	P7
3. 組織の沿革	P8
4. 代表者による課題とチャンスの明確化	P9~P10
5. SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み	P11
6. SDGsとの拘わりと今後の取組方向	P12
7. 事業活動による環境影響の把握	P13~P14
8. 環境経営方針	P15
9. 実施体制と役割・責任・権限	P16
10. 環境経営目標	P17~P20
11. 環境経営計画	P21~P22
12. 取組実績・目標評価一覧	P23~P26
13. 取組内容とその評価	P27~P32
14. 従来から実施している対策・活動	P33~P42
15. 今期に実施した対策及び活動報告	P43~P45
16. 環境教育の実施	P46
17. 内部・外部コミュニケーションの実施	P46
18. 緊急事態対応訓練	P47
19. 内部監査の実施	P47
20. 次年度(2021年)の環境経営目標及び環境経営計画	P48
21. 環境関連法規制等の遵守状況	P49
22. 代表者による全体評価と見直し・指示	P50
23. 取組の成果(受賞)	P51
24. 認証取得の状況	P52

杉山メディアサポート丸塚営業本部、新都田工場がある浜松市について紹介します。

2005年7月1日、浜松市、浜北市、天竜市、舞阪町、雄踏町、細江町、引佐町、三ヶ日町、春野町、佐久間町、水窪町と龍山村の12市町村が合併して新しい浜松市が誕生しました。

そして、2007年4月1日、中区、東区、西区、南区、北区、浜北区、天竜区の7つの行政区を設置して政令指定都市となりました。

日本のほぼ中央に位置する浜松市の面積は1,558.06平方キロメートルで、岐阜県高山市に次いで全国2位となっています。北は赤石山系、東は天竜川、南は遠州灘、西は浜名湖と四方を豊かな自然に囲まれ、気候は比較的温暖ですが、冬は「遠州のからっ風」と呼ばれる北西の強い季節風が吹き、気温以上に寒く感じられますが、この強い風により、広大な遠州灘海岸の砂丘に美しい風紋を作り出しています。



市の森林面積は約10万3千haで地域の68%を占めています。

やらまいか!

やらまいかとは、何事にも果敢に挑戦してみよう、何事もまずはやってみようという気質を表す言葉です。やらまいか精神によってものを作り出すということに取り組んできた結果、数々の日本初や日本一の技術や製品を創出しています。

- ・日本初の軽自動車
- ・日本初、独自設計によるオートバイ
- ・日本初の国産ピアノ
- ・日本初の電子式テレビ誕生に貢献
- ・日本初の木工機械

それゆえ、浜松は**ものづくりのまち**とされています。



はじめに

日々改善 日々実践心をこめたモノづくり

私たち、杉山メディアサポート株式会社は、創設以来、次の基本方針と4つのSを持つ人材と組織風を理念とし、全てのステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、環境保全、社会貢献に励み、地域の発展に尽くすことが、当社の使命と強く認識し、静岡県浜松市を中心に印刷業の企業経営を通して、地域の皆さまに貢献すべく精進して参りました。ここまでの信用を得られたのは、地域の皆さまのご協力があったからこそだと思っています。

<基本方針>

- ・ 全社員の意識改革と杉山の業態変革
- ・ 部門長の率先垂範行動と強いリーダーシップの発揮
- ・ 杉山の強みを前(全)面展開
- ・ 提案型営業の強化
- ・ 地域に密着した営業活動

<4つのSを持つ人材と組織風>

- ・ SENSE(センス) 何事にも、好奇心を持ってあたれ
- ・ SPEED(スピード) とにかく速い対応を
- ・ STUDY(スタディ) よく学び、お客さまをよく知れ、己をよく知れ
- ・ SMILE(スマイル) とにかく笑顔を忘れずに、健康に



代表取締役 大高 明

当社は1948年に創業し、株式会社杉山印刷の社名で長年活動してきましたが、デジタル時代に対応するため、2008年杉山メディアサポート株式会社に社名変更して、今年の4月で創業73年になる総合印刷会社です。長年にわたりご愛顧、ご支援の賜物は皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

私どもは企業経営を継続していく上で、環境に対する配慮を重要な要素であると考え、二酸化炭素排出量の抑制と省エネルギーの推進で地球温暖化の防止、廃棄物排出量の削減のほか、環境保全に繋がる項目に対して目標を設定し、積極的かつ継続的に取り組んでまいりました。

しかしながら、気候変動の激化や地球温暖化の進行などの環境問題や、感染症の流行や少子高齢化などの社会問題、地域経済の疲弊などの経済問題が深刻化しております。2020年は新型コロナウイルス感染症により、世界中の社会と経済に甚大な影響を与え、私どももこの影響を少なからず受けておりますが、このような時でこそ、私どもはSDGs(持続可能な開発)の目標達成に向けて行動していくことが重要であると認識しております。

本報告書は、活動期間2020年1月から12月の1年間におけるエコアクション21活動の環境マネジメントシステム活動を運用した結果を取りまとめたものです。私どもの活動に対しまして、今後も皆様からの率直なご意見をお待ちしております。

代表取締役 大高 明



トータル品質でお客様の「！」にお答えします

- Useful Quality** 機能的で有益なオリジナル商品を高品質でご提案します
- Printing Quality** 印刷テクノロジーをベースにクロスメディアマーケティングをご提案します
- Facility Quality** オフセット印刷をはじめ総合高品質印刷設備でご対応します
- Security Quality** セキュリティ対策万全でお客様の個人情報情報を安全かつ厳重に管理します

浜松城は徳川家康が29歳から45歳までの17年間を過ごし、その後、駿府城(静岡市)に移りました。その後は25代の浜松城主が誕生し、その多くが江戸幕府の重役に出世したことから、「出世城」と言われています。



名所 浜松城



浜松フラワーパーク、浜名湖ガーデンパークなど花と緑に囲まれています



オイショ!

5月3日から5日に行われる浜松まつりは、今からおよそ450余年前に始まったとされており、当時の浜松を治めていた引間城主の長男誕生を祝って城中高く凧を揚げたことが、凧揚げの起源であると言われています。



長男が生まれたらその子の成長を願って凧を揚げる初凧・糸切り合戦。「オイショ!」の掛け声とともに天高く揚がります

写真提供:
浜松・浜名湖ツーリズムビューロー

日本で初めてうなぎの養殖が始まったのは浜名湖



名物 鰻の蒲焼



特産品 みかん



マツ

浜松市の木・鳥・花



ウグイス



みかん

1. 組織の概要

杉山メディアサポート株式会社は、1948年4月に創業し、72年間、静岡県浜松市を中心に印刷業を通して、地域社会の発展に貢献してきました。当社では、「最小限のコストで最大の効果を上げたい」「顧客を囲い込みたい」などといったお客さまの声を最大限に生かし、お見積りから企画・提案・印刷・納品までをスピーディに対応し、チラシやパンフレットから、インターネット事業まで広がりのある広告展開をトータルサポートしています。

それでは、事業所所在地、資本金、事業内容等の組織の概要をご紹介します。

1. 事業者名・代表者名

杉山メディアサポート株式会社 代表取締役 大高 明

2. 事業所所在地・連絡先

丸塚営業本部 : 〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町196-1

TEL053-467-6000 FAX053-467-6006



藤田営業部長

浜松市内をはじめ、西は愛知県、三重県方面、東は静岡県大井川以西を拠点とし、チラシ、カタログ、DM、販促品等幅広い営業活動を展開しています。「解決力」「提案力」「品質力」の3つの力でスピード感のあるご提案をします。

新都田工場 : 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目10番2号

TEL053-484-1171 FAX053-484-1170



清水新都田工場長

新都田工場は、浜松市都田テクノポリス内に1996(平成5)年5月に操業を開始しました。オフセット枚葉印刷、オフセットビジネスフォーム印刷を中心とした事業を行っています。緑豊かなこの地域の環境を維持するため、環境に配慮する取り組みを積極的に行っています。

静岡営業所 : 〒420-0913 静岡県静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号

TEL054-267-3001 FAX054-267-3003



池谷営業所長

静岡営業所は1995(平成4)年の開設以来、静岡市内をはじめ、県外にも営業活動範囲を広げています。静岡営業所のコンセプトは、地元企業に密着し、地域の発展に寄与することを目指しています。

東京営業所 : 〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-8-8 目黒F2ビル2階

TEL03-6412-7661 FAX03-6412-7662



間中営業所長

東京営業所は、大都市での営業活動を展開するため1996(平成5)年4月に開設しました。営業拠点は、東京都内を中心に、関東地区に広めて活動しています。いつも笑顔で元気よく、迅速にお客様の要望にお応えすることを心掛けて活動しています。

3. 環境保全関係の責任者・担当者連絡先

環境管理責任者 : 清水 亨
EA21事務局 : 曾我 晴美 【E-mail】ninshou@sugi-p.co.jp
TEL053-484-1171 FAX053-484-1170
【E-mail】soumu@sugi-p.co.jp (代表/丸塚営業本部 総務部)
【HP】<http://www.sugiyama-ms.co.jp/>

4. 設 立

1948年4月1日

5. 資本金

5,600万円

6. 事業年度

2020年2月 ~ 2021年1月

環境活動期間: 2020年1月~12月(2020年度)

7. 事業の内容

・印刷、製本業 ・商業、工業デザイン企画設計 ・各種写真の撮影・情報の収集、処理、加工、提供サービス ・看板の設計、製作

8. 事業の規模(環境活動期間実績)

総売上高 : 1,970百万円(2020年度)

従業員数 : 138名

延床総面積 : 7,924㎡

9. 認証・登録の対象組織活動

対象事業所: 全事業所

丸塚営業本部、新都田工場、静岡営業所、東京営業所

10. 認証登録番号

0000047

11. 認証・登録日

2004年11月26日認証登録

12. 対象の活動

総合印刷業(企画・立案から印刷、加工、出荷、在庫管理)、情報サービス加工業(DTP、データベース構築、WEBホームページ制作等)等

エコアクション21認証取得の経緯

1996年都田テクノポリスに本社移転を機に、環境担当者1名で活動を開始しました。2001年環境省が発足され、これまで以上に地球温暖化防止のための削減目標など環境対策としての規制が定められ、当社としてもこれに準じた環境問題に取り組む必要性を感じ、2002年環境事務局を立ち上げ、ISO14001認証取得を開始しました。しかしながら、業務と並行しての活動には①時間がかかる、②人手が足りない、③経費がかかる、などの理由から取得を断念せざるを得ない状況となりました。

そのような時、環境省が策定した取り組みやすい認証があることを知り、2003年より環境活動評価プログラム「エコアクション21」パイロット事業に参加し、本格的に環境への取り組みを開始して2004年11月認証を取得することができました。



エコアクション21
認証番号0000047



杉山メディアサポートアラカルト

杉山メディアサポートはプライバシーマーク認定企業です。

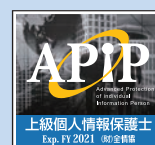


2010年12月取得

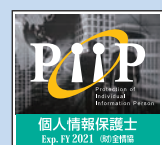
プライバシーマーク制度とは？

プライバシーマーク制度とは、日本工業規格「JIS Q 15001 個人情報保護マネジメントシステム-要求事項」に適合して、個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者等を認定して、その旨を示すプライバシーマークを付与し、事業活動に関してプライバシーマークの使用を認める制度です。

お客様からお預かりする個人情報は万全なセキュリティ体制のもとで厳重に取り扱います。



上級個人情報保護1名



個人情報保護士4名

環境経営レポート2019年版

「第24回環境コミュニケーション大賞 優良賞」受賞

当社の環境経営レポート2019年版が、第24回環境コミュニケーション大賞 環境経営レポート部門にて、応募数114点の中から「優良賞(審査委員長賞)」を受賞いたしました。

2021年2月17日オンライン方式での表彰式が行われ、これに先立ち賞状と講評をいただきました。

印刷物の企画・立案、デザイン等を行っていることが活かされており、レポートもイラスト、写真、グラフ等を多用し読みやすく、まとまりのあるものとなっている。

環境影響について事業活動の工程ごとにINPUT・OUTPUTにより示した図や、環境経営目標とSDGs目標との相関表、取組実績・評価の一覧表等、取組内容がコンパクトにまとめられわかりやすく優れている。実際の取組においては、製品への環境配慮、環境汚染物質削減等、本業における取組も積極的に行っており、目標に対する取組結果の評価、改善事項等マネジメントシステムが有効に機能していることが伺える。

エコアクション21認証登録をして17年が経過し、環境経営レポートを環境コミュニケーション大賞に応募すること7回目で初めて「優良賞」を受賞することができました。

この度の受賞を励みとして、環境や地域社会に対する取り組みをより積極的に行い、コミュニケーション・ツールとしてのレポートを充実させて皆様にお届けして参ります。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げますとともに、この環境経営レポート2020年版をお読みいただき、ご意見、ご感想を賜りたくお願い申し上げます。

そして、これからも環境コミュニケーション大賞に応募して大賞(環境大臣賞)受賞に向けて精進して参ります。



環境経営レポート2019年版が環境コミュニケーション大賞「優良賞」を受賞したことで、クリーン電力小売業者から再生可能エネルギー電力のご案内をいただいたり、環境省SDGs取組調査のヒアリングを受けるという貴重な経験をさせていただきました。

ヒアリング内容を元に「SDGsへの挑戦 -それぞれのきっかけからメリットまで!」を作成していただき、環境省ホームページに掲載していただきました。



ここで、印刷について説明します。

印刷とは、文字、図、絵、写真などの原稿をもとに印刷版をつくり、印刷インキなどを塗布して紙などの被印刷物に押しつけ、機械的に複製することをいいます。版面の状態により、平版印刷、凸版印刷、凹版印刷、孔版印刷の4種がありますが、当社の平版印刷について説明します。

◆ 平版印刷

平版印刷・・・カタログ、チラシ、ポスター、新聞などの印刷

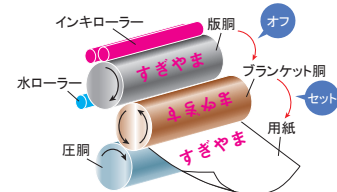
平版印刷は水と油の反発現象を利用した印刷方式です。

インキを付着させたくない非画線部に予め水(湿し水)を付着させる事で、インキを反発させる性質を持たせ、画線部は親油性の樹脂で形成されるため、インキが付着します。版から直に印刷せず、一度ゴムで出来たブランケットにインキを転写(OFF)し、そのインキが被印刷体に転写(SET)されることから**オフセット印刷**といえます。他の版式に比べ、印刷速度が早く、大部数の多色物に使用され、経済性があります。平版の代表的なものは、当社でも使用しているアルミを使ったPS版です。

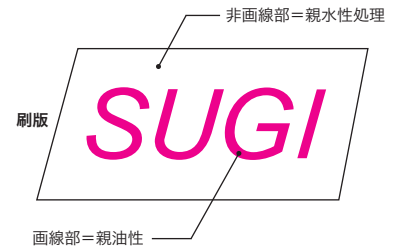
平版印刷(オフセット印刷)の仕組み

油性のインキと水とが反発する性質を利用し、紙にインキの乗る部分「画線部」と乗らない部分「非画線部」とに分け印刷を行います。**オフセット印刷**と呼ばれる所以は、インキの着いた判で直接紙に印刷を行うのでは無く、一旦ブランケットと呼ばれるゴムでできた素材に絵柄を転写し、それから紙に転写することからきています。

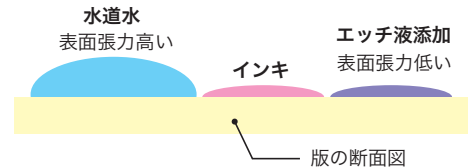
①印刷版に水を付ける ②印刷版にインキを付ける



③ブランケットに転写する ④紙に転写する



エッチ液添加で表面張力を低くする



湿し水

平版印刷(オフセット印刷)では、インキが付着して紙に印刷される部分と、それ以外の部分がありますが、インキが付着する部分を「画線部」、それ以外を「非画線部」と呼びます。この画線部は油性のインキが付着しやすい親油性の特性を持ち、それ以外の部分は水が付着しやすい親水性の特性があります。湿し水は親水性の特性を持つ部分を湿らせるためのものですが、通常の水道水の場合、表面張力が高く、細かいところまで湿し水が行き届かないほか、pHの値によっては湿し水が汚れやすくなったり、網点(めい)が細ったり潰れてしまったりします。このため、表面張力や保水性、pH、汚れを調整するためにエッチ液を添加します。

エッチ液

エッチ液を湿し水に添加することで、親水性・保水性・修復力が向上して、印刷能力を引き上げることができます。
親水性:「非画線部」の表面張力を下げることで、細かい「非画線部」にもよく浸透して、インキが付着してはいけない部分の隅々まで湿し水が行きわたります。
保水性:乾いた版面にはインキが付着してしまうため、版面上で水を保つことが要求されます。
修復力:版面の汚れやキズの修復、インキの乳化による版面の汚れの修復を行います。

湿し水の調整は、印刷の品質を高める際の重要な要素の一つです。

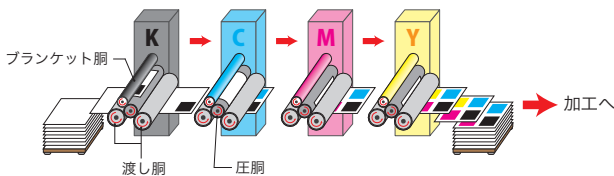
次に、印刷機について説明します。

印刷機には、カットされた1枚の紙(板紙といえます)に印刷する「**枚葉印刷機**」と、ロール紙に連続して印刷する「**輪転印刷機**」があります。

◆ 枚葉印刷機の構造

枚葉印刷機は、1枚ずつの紙に印刷するため、紙のサイズや厚みが変わっても印刷することができ、チラシや冊子等を印刷するのに適した印刷機です。当社新都田工場は枚葉印刷機を5台、その内1台は表裏を同時に印刷することができるものを設置しています。

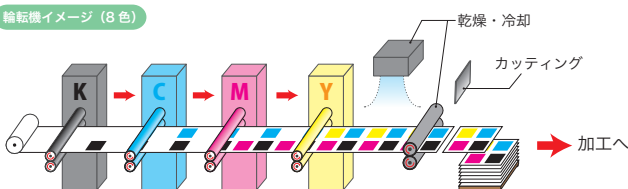
枚葉機イメージ (4色)



◆ 輪転印刷機の構造

輪転印刷機は、ロール紙から連続して印刷され、印刷後すぐに大型乾燥機でインキを乾かし冷却装置で温度を下げ、カットされ、折り加工や梱包処理もできます。枚葉印刷機に比べ生産性が高く大部数のチラシや雑誌・書籍の印刷などにむいています。当社丸塚営業本部オプリン工場には、輪転印刷機を2台設置しています。

輪転機イメージ (8色)



2. 組織の主な取り扱い商品

- ◆ 杉山メディアサポートの主な取り扱い商品を紹介します。

カタログ、リーフレット、チラシ、マニュアル、取扱説明書、帳票類、社内報、CSR報告書、カレンダー、ダイレクトメールなどを時代の一步先行くアイデアとソリューションで、お客さまのあらゆるニーズに全力で応えています。

【オフラインメディア(印刷媒体)】 質の高いクリエイティブワークと印刷技術で、プロモーションを応援します。



カタログ



リーフレット



チラシ



マニュアル



パンフレット



帳票類



社内報・会報誌



ポスター



圧着DM



ステッカー・シール



カレンダー



のぼり・POP



パッケージ



ショッピングバック



宛名印字

- ◆ 杉山メディアサポートは紙媒体などのオフラインメディアから、情報のスピードと鮮度が求められる今の時代に、お客さまが伝えたい情報をより早く、よりの確に、より多くの人に伝えるためのお手伝いとしてオンラインメディアにも力を入れています。オンラインメディアと一口に言っても、Webサイト(ホームページ)を基本として、リスティング広告やディスプレイ広告、ソーシャルメディア広告など多岐にわたります。それぞれの特性や費用対効果を示し、目的に応じた適切なプランをご提案します。

【オンラインメディア(Web)】 多彩なクロスメディアを使い分け、狙ったユーザーに情報を分かり易く伝えます。



Webサイト制作

Webサイトの制作・運営・管理・システム開発を行っております。



インターネット広告

インターネットを利用した広告配信で、Webサイトへ効果的な集客をご提案します。



クロスメディア

様々な形態のメディアをユーザーのニーズに合わせて柔軟に制作致します。



動画制作

企業PRや、製品・サービスPRまで様々な目的やジャンルに最適な動画を制作致します。

- ◆ 企業のCI(コーポレート・アイデンティティ)やキャンペーングッズ、商品紹介やメッセージ、または商品の認知度の向上や消費者の購入を促す効果を期待し新商品などのキャンペーンで配布するグッズなど、ご希望に応じたオリジナルデザインで承ります。また、クライアントと共に戦略を構築し、戦略を元にイベントの企画・設営・運営を実施しています。その他、封入・封緘・宛名印字・投函までの一連の業務を正確かつ迅速な対応を実施しています。もちろん、個人情報の取り扱いには厳しい管理の元、実施しています。

【販促グッズ・ノベルティ】



キャンペーンやイベントのグッズやノベルティ制作や、イベントの企画・設営・運営を実施します。

【封入・封緘・宛名印字】



自動化、機械化により作業効率を高め、宛名印字や発送作業をトータルサポートします。

【ポスティング】



集合住宅を対象に、チラシをご要望に合わせて各家庭へダイレクトに配布します。

3. 組織の沿革

我が社は、静岡県浜松市に1948年4月に創業し、創立72年となります。1972年に株式会社杉山印刷に改組し、2008年にはデジタル時代に対処するために、「杉山メディアサポート株式会社」に社名変更し、今日に至っています。その間、2004年に「エコアクション21」を認証取得し、「FSC森林認証制度 CoC認証」等の資格を取得すると共に、日本印刷産業連合会が主催する「印刷産業環境優良工場表彰」の経済産業省商務情報政策局長賞受賞等、各種賞を受賞してまいりました。我が社の会社沿革は次の通りです。

会社沿革

- ◆ 1948年 4月 会社創業
- ◆ 1972年 11月 株式会社杉山印刷に改組
- ◆ 1980年 9月 浜松市上新屋町に本社工場新築移転
- ◆ 1990年 5月 浜松市丸塚町に印刷工場完成
- ◆ 1995年 8月 静岡営業所開設
- ◆ 1996年 4月 東京営業所開設
- ◆ 5月 新都田テクノポリスに本社工場移転
- ◆ 1998年 8月 南伊場営業本部開設
- ◆ 2004年 3月 浜松市東区丸塚町にオフリン工場完成
- ◆ 9月 プライバシーマーク認定制度取得
- ◆ 11月 エコアクション21認証取得
- ◆ 2007年 10月 グリーンプリンティング工場認定制度 新都田工場取得
- ◆ 2008年 5月 FSC®森林認証制度 CoC認証取得
- ◆ 10月 杉山メディアサポート株式会社に社名変更
- ◆ 2009年 10月 伊場営業所、営業本部並びに総務・経理課を浜松市東区丸塚町に移転
- ◆ 2010年 1月 メディア・ユニバーサルデザイン協会正会員に加入
- ◆ 2011年 9月 日本印刷産業連合会「第10回印刷産業環境優良工場表彰」 日本印刷産業連合会奨励賞受賞
- ◆ 2012年 1月 平成23年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」 エコ事業所部門AA認定
- ◆ 2013年 1月 平成24年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」 エコ事業所部門AA認定
- ◆ 3月 「ふじのくにエコチャレンジACTION」 優秀賞受賞
- ◆ 9月 全国印刷産業連合会CSR認定制度 ワンスター認定取得
- ◆ 2014年 1月 平成25年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」 エコ事業所部門AAA認定
- ◆ 1月 新都田工場に太陽光パネル設置
- ◆ 9月 日本印刷産業連合会「第13回印刷産業環境優良工場表彰」 日本印刷産業連合会特別賞受賞
- ◆ 2015年 2月 平成26年度「浜松市新エネ・省エネトップランナー認定制度」 Sランク認定・特別賞受賞
- ◆ 5月 南伊場営業所(オンデマンド印刷部)を佐鳴台に移転 ODPショップ開設
- ◆ 8月 日本印刷産業連合会「第14回印刷産業環境優良工場表彰」 日本印刷産業連合会会長賞受賞
- ◆ 9月 全国印刷産業連合会CSR認定制度 ツースター認定取得
- ◆ 11月 エコアクション21 「認証・登録10年継続記念表彰」受賞
- ◆ 12月 日本印刷産業機械工業会 Japan Color標準認証取得
- ◆ 2016年 3月 メディアユニバーサルデザインおりがみ「おりやすくん」、食物アレルギーキット「My Allergy」商標登録
- ◆ 8月 第15回 印刷産業環境優良工場表彰 日本印刷産業連合会 経済産業省 商務情報政策局長賞受賞
- ◆ 2017年 1月 平成28年度「プライバシーマーク®制度貢献事業者表彰」受賞
- ◆ 2018年 2月 「ふじのくにエコチャレンジTRY」審査員特別賞受賞
- ◆ 11月 ODPショップを新都田工場内に移転
- ◆ 2019年 2月 令和元年度「浜松市企業のCSR活動表彰」 ローカル活動部門入賞
- ◆ 4月 東京営業所移転

4. 代表者による課題とチャンスの明確化

近年、地球の温暖化等の気候変動リスクは、社会経済の大きな問題となっています。その為、パリ協定に象徴されるように、世界は持続可能な期待は、紙・ゴミ・電気などの環境負荷の削減といった限定的な環境への取り組みを管理する手法から、本業を通じた環境への取り組みにその様な背景より、エコアクション21ガイドライン2017年版は、中小事業者でも取り組みやすいEMSという従来からの意図は堅持しつつ、「環境促進の促進」などを組み、事業者が経営のなかに環境への取り組みを位置付けることで、事業者の成長を加速させ、進化を最大化できる改定されたエコアクション21ガイドライン2017年版は、環境経営を推進することにより、全ての事業者が企業価値の向上を実現できるよう支援とができる仕組みです。経営と環境への取り組みの方向性を一致させ、環境経営を実現させるためには、代表者は、「事業内容」、「事業を取りチャンスには、課題を克服することにより生じる新たな事業発展の機会などがあります。」を整理し、明確にすることが必要で、そして、明確にした能な範囲で反映させるとしています。

その様なことから、我が社としてはSWOT分析を用いて経営における課題とチャンスを整理し、明確にしました。その結果は、次の表の通りで、「製品の提供推進」を実施していくこととしました。

外部環境		機会(O)	チャンス(事業上の強み、有利な点等)	内部環境		強み(S)	チャンス(事業上の強み、有)
(1)	環境配慮としての森林認証紙を使用した製品に対する要望の拡大			①	地元大手企業とのネットワーク		
(2)	インターネットの進歩(情報通信技術の急速な発展)			②	72年の印刷業としての歴史(高い印刷技術力)		
(3)	印刷業務の小ロット短納期化傾向			③	ICT(情報通信技術)に詳しい従業員の存在		
(4)	グローバル化による海外向け印刷ニーズ			④	フォーム印刷と情報システムの連携による業務効率		
(5)	デジタル印刷事業の成長の可能性			⑤	デジタル印刷機の活用		
(6)	地元根差した知名度			⑥	万全な情報セキュリティ対策		
(7)	専門的知識を有する社員			⑦	本業に関わる認証取得済み(FSC®CoC認証やグリーンプリンティング工場認定)		
(8)				⑧	プライバシーマーク認定取得や個人情報の資格を		
外部環境		脅威(T)	課題(事業上の弱み、問題点)	内部環境		弱み(W)	課題(事業上の弱み、)
(1)	印刷業界の構造的不況			①	主要顧客との取引額の減少、主要顧客への依存体質(一社依存の経営体質)		
(2)	顧客からのコスト削減圧力			②	売上減少、利益減少		
(3)	最新設備を導入した大手印刷業者との価格競争の激化			③	従業員の経営意識が低い		
(4)	同業者の倒産・廃業			④	遊休製造設備の存在		
(5)	自家製プリンターの技術の向上			⑤	原材料費の増加		
(6)	ネット利用の普及による紙媒体製品の顧客離れ			⑥	不動在庫(停滞在庫)の存在		
(7)	印刷用紙の値上げ			⑦	印刷予備製品の廃棄量増加		
(8)	古紙パルプ不足によるリサイクルペーパー不足			⑧	経年劣化による施設・設備の修繕費増加		
(9)	原材料費、消耗品等の上昇			⑨	作業基準書や手順書が明確でない		
(10)	情報通信技術(ICT)発展による情報セキュリティ			⑩	電気、ガス、水使用量の増加		
(11)				⑪	生産コストの増加		
(12)				⑫	リスクマネジメントが不十分		

な社会の構築を目標に、社会経済システムの大転換を決意し、着実に取り組んでいます。こうした状況の中、環境マネジメントシステム(EMS)へより、事業者自らと社会の持続的な成長を実現する環境経営を推進する手法へと、大きく変化しています。

環境経営に重要な要素である「環境と経営を融合した戦略立案」、「組織体制の確立」、「人材教育」、「環境面の法令などの遵守」、「環境コミュニケーション」を念頭に改定・策定されました。

するもので、エコアクション21における環境経営とは、狭義の環境マネジメントシステムをベースにし、環境のみならず経営全体を発展させること「巻く状況」、「事業と環境とのかかわり」等の事項を考慮し、経営における課題とチャンス(課題には、組織の外部からのもの、内部にあるもの、経営における課題とチャンスを社員と共有した上で、比較的中長期のものは環境経営方針に、短期のものは、環境経営目標に、それぞれ可

中長期のものとしては、「情報通信技術、新印刷技術による高付加価値型事業の展開、短期的なものとしては、「環境配慮型製品(FSC認証



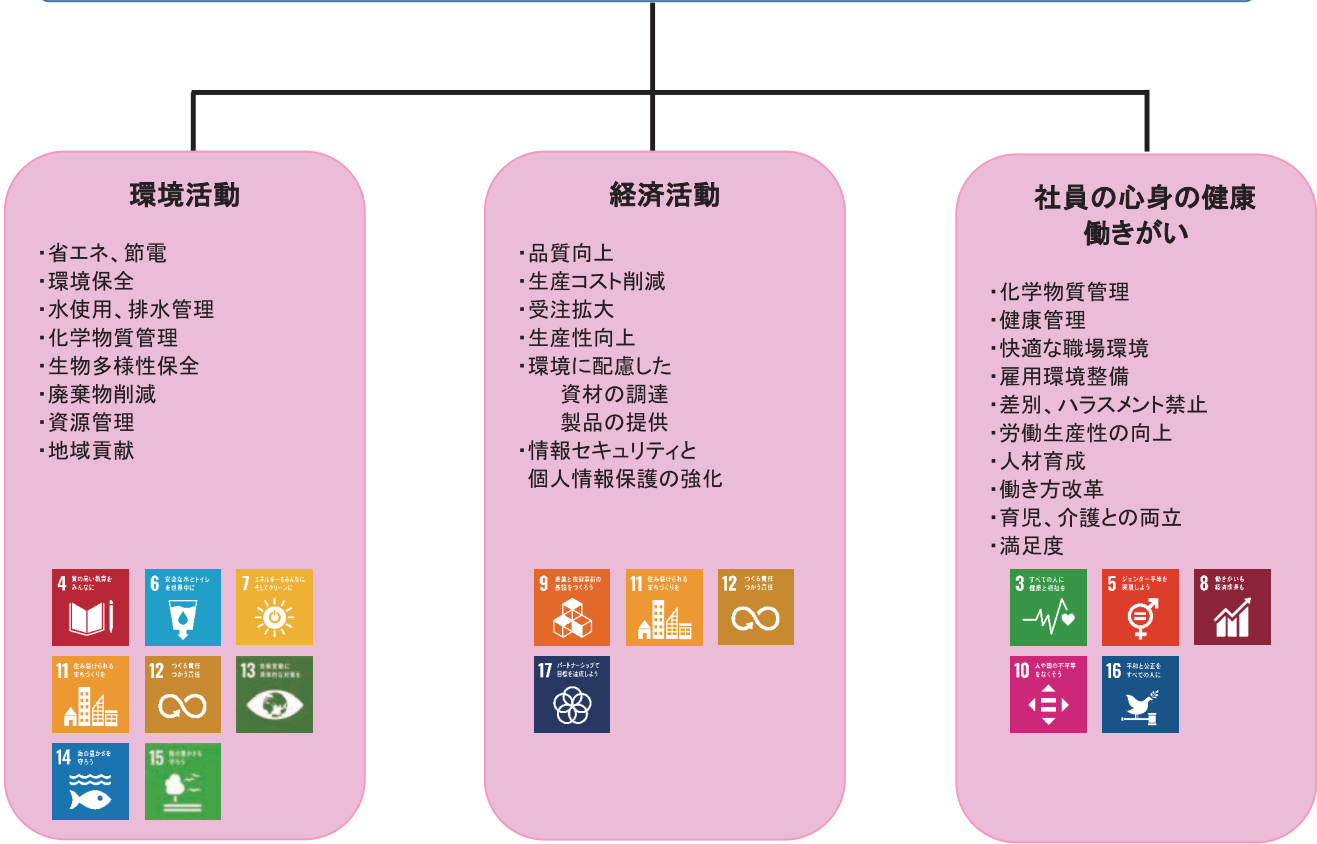
5. SDGs (持続可能な開発目標) の取り組み

企業はこれまで、消費者のため、地域社会のため、そして生活環境の維持のために求められる製品やサービスを提供してきました。しかし、昨今の少子高齢化による人材不足や消費者ニーズの多様化等により、売上拡大や事業承継において課題を抱える企業が多くなってきました。企業が将来に渡って継続し、より発展していくために必要となるのが、長期的な視点で社会のニーズを重視した経営と事業展開です。そこで、今、ビジネスの世界では、経営リスクを回避するとともに、新たなビジネスチャンスを獲得して持続可能性を追求するためのツールとして、SDGs(エスディーゼーズ)の活用が注目を集め、市場のニーズ、そして取引先からのニーズとして、SDGs への対応が求められるようになってきています。実際、投資の条件として、収益だけではなく、SDGs に取り組んでいるかどうかも見られる時代になってきています。

SDGs とは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で 2030年を目指して明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。SDGs が関係するのは、グローバルな取り組みだけではありません。企業が行う事業そのものはもちろん、普段から取り組んでいる節電や節水、社員の福利厚生など、企業が行う行動すべてがSDGs とつながります。

その様なことから、我が社においても、SDGsに取り組むことを宣言すると共に、環境経営を実行していく上での課題とそれに関連するSDGsの目標を整理してみました。その結果は、下図の通りです。

環境経営を実行していく上での課題とそれに関連するSDGsの目標



杉山メディアサポートアラカルト

SDGsとは？

SDGs(エスディーゼーズ、持続可能な開発目標)をご存知ですか。

これは、2015年に国連が採択した先進国を含む国際社会全体の 2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。同年 12 月に採択された地球温暖化対策としての「パリ協定」と両輪になって、今、世界を大きく変える道しるべとなっています。SDGs とは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で 2030 年を目指して明るい未来を作るための 17 のゴールと 169 のターゲットで構成されています。SDGs が関係するのはグローバルな取り組みだけではありません。企業が行う事業そのものはもちろん、普段から取り組んでいる節電や節水、社員の福利厚生など、企業が行う行動すべてがSDGs とつながります。SDGs のゴール・ターゲットを見ると、自社の取り組みとのつながりに気づきます。そこから、自社の強みは何であるかを改めて見直したり、SDGs に示された課題を解決できる自社の潜在能力に気づくことができたりします。事業活動を持続していくためには、今の社会のニーズだけでなく将来のニーズも満たすような事業展開が必要です。SDGs を掲げた企業経営によって、持続可能な企業へと発展していきましょう。



6. SDGsとの拘わりと今後の取組方向

我が社は、SDGsの観点より普段から取り組んでいる事項、今後、新たに取組べき項目について、整理してみました。その結果、2030年までに、「持続可能でより良い世界を目指す国際目標の17のゴールのうち13のゴール、169のターゲットのうち、28のターゲット」において、施策を推進することとしました。

目標		ターゲット	
3. すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する		3.9 2030年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。
4. 質の高い教育をみんなに	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する		4.3 2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
			4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。
5. ジェンダー平等を実現しよう	ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る		5.1 あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
			5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、全ての女性及び女児に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
			5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
6. 安全な水とトイレを世界中に	すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する		6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。
			6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する		7.2 2030年までに、世界のエネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。
			7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。
8. 働きがいも経済成長も	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する		8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
			8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る		9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
			9.b 産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する。
10. 人や国の不平等をなくそう	国内および国家間の格差を是正する		10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
			10.1 2030年までに、全ての人の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。
11. 住み続けられるまちづくりを	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする		11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。
			11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。
			11.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。
12. つくる責任 つかう責任	持続可能な消費と生産のパターンを確保する		12.4 2030年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。
			12.5 2020年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
			12.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。
14. 海の豊かさを守ろう	海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する		14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。
			14.2 2030年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性(レジリエンス)の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。
15. 陸の豊かさを守ろう	陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る		15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。
			15.2 2020年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。
			15.3 2030年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壌を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。
			15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実にする。
			15.5 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。
16. 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する		16.1 あらゆる場所において、すべての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。
			16.2 子どもに対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。
17. パートナーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化しよう		17.14 持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する。
			17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

7. 事業活動による環境影響の把握

我が社の各製造工程での事業活動に伴い、与える環境や社会への影響はどうなっているのか確認してみました。その結果は、次の通りです。これより、どの工程でも投入物質として電気を使っていることや、廃棄物を排出していることがわかります。その様なことから、電気の使用量を抑え、廃棄物排出量を少なくすることが重要であることがわかります。また、物の排出等)、地球環境への影響(地球温暖化、オゾン層の破壊、資源の枯渇)、生命体への影響(人の健康被害等)、自然環境への影響及び環境経営の推進(製品への環境配慮・サービス提供等)が生じ、本業以外での本レポートの内容(環境経営方針、環境経営目標、環境経営活動等)については、その分類に沿って記載・解析することとします。

事業活動＝環境経営の実施



杉山メディアサポートアラカルト

カンパとは？

「デザインの完成見本」のことで、クライアントと制作者との間で、色やフォントなどのイメージをすり合わせるため作成されます。当社では、営業だけでなく企画デザイナーが打ち合わせに参加し、クライアントの「伝えたいこと」「アピールしたいこと」など、生の声を聞くことにより、イメージどおりのデザインを製作しています。DTPでは、作業した最終データがカンパ通り(完成見本通り)になっているか確認するために使用しています。

DTPとは？

印刷物の制作の際、文章、写真、イラストなどの位置をDTPソフトを使ってレイアウトをする他、デザイナーによるデザインの原案を文字詰めや禁則処理、フォント指定、画像処理設定など、印刷ルールに則って印刷物として出力できるデータに整える作業をします。

CTPとは？

DTPで作成したページレイアウトデータをプレートセッターと呼ばれる機械でオフセット印刷用の版(プレート)に焼き付ける作業をします。

色校正とは？

色校正とは、実際の印刷の仕上がりが表現したいイメージを再現できているか、色の認識が違っていないかを、クライアントに提出して確認してもらうためのものです。色校正には、本機色校正と簡易色校正があります。

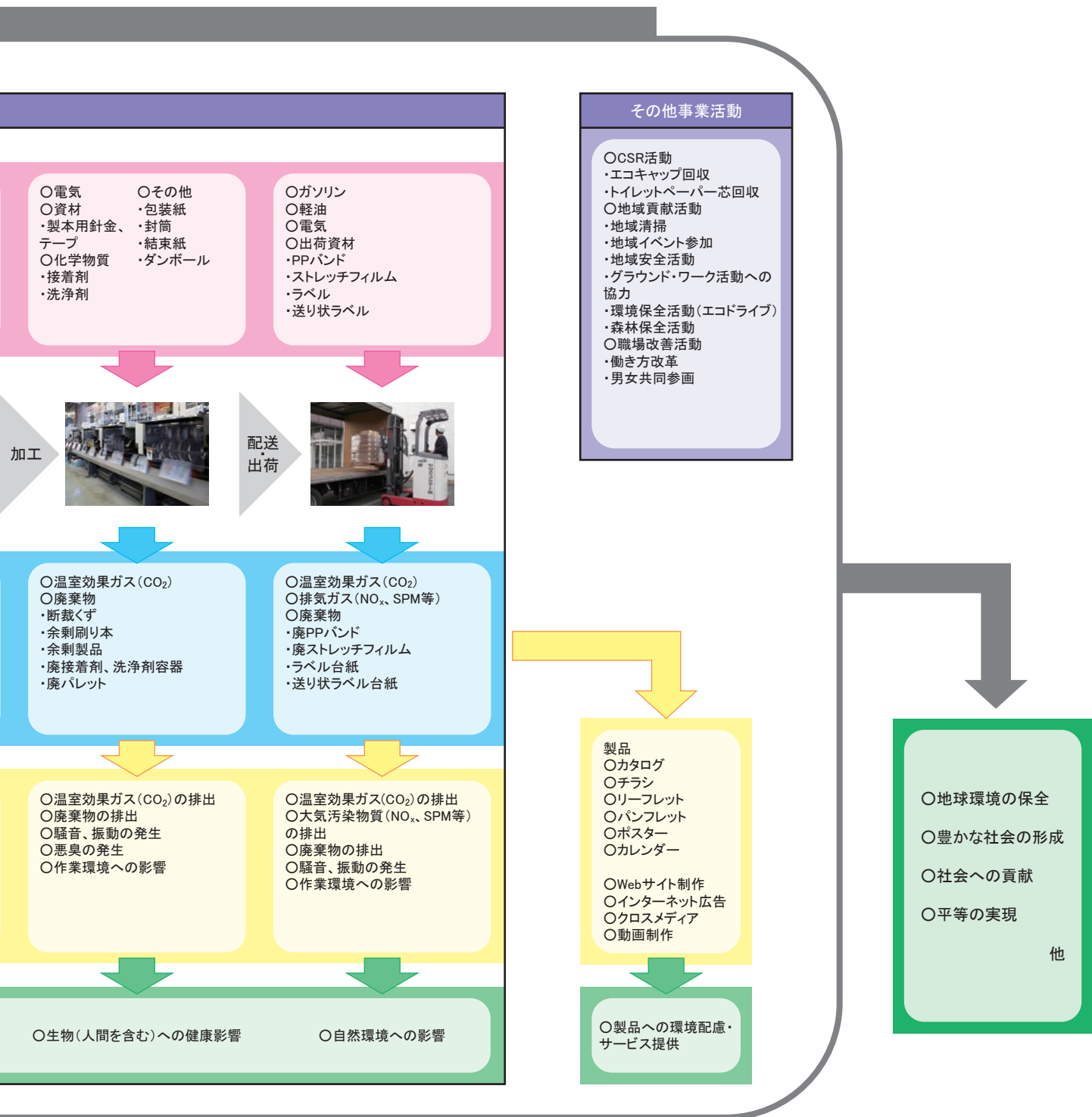
●本機色校正

実際に使用する印刷機、インキ、用紙での試し刷り。本刷りと同じ状態にするため、100%に近い再現性があります。量産である印刷機の使用により、印刷版や多数の用紙が必要であり時間とコストがかかってしまいます。

●簡易色校正

当社での簡易色校正の印刷機はインクジェットプリンターを使用しています。低コスト、短納期が可能です。カラーマッチングを行って本機と色を近づけていますが、インキ、用紙、印刷原理が異なるために色の再現性はあまり高くありません。当社ではこの色の再現性を高くするために、『Japan Color標準印刷認定制度』を取得しています。

本業である印刷業という事業活動を展開する結果、生活環境への影響(大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音・振動、悪臭、廃棄物、事業展開する上において、環境経営の推進(GSR活動、地域貢献活動、職場改善活動)の課題があることが分かります。

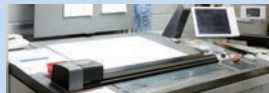


Japan Color標準印刷認定制度とは？

IOSIに準拠し日本のオフセット枚葉印刷における印刷色の標準的な基準であるJapan colorに基づいて認証を行う制度です。標準印刷認証は印刷機械のメンテナンスと数値管理によって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力等について認証するものです。当社は2015年12月に、より一層の印刷品質向上と安定のためにこの認証を取得しました。



簡易出力機



8. 環境経営方針

我が社は、環境経営方針を次の通り定め、我が社の基本方針、行動指針などを社会に知ってもらうため、社会に公表しています。

環境経営方針

◆◆ 基本方針 ◆◆

杉山メディアサポート株式会社は、全てのステークホルダーの皆さまとの関係を重視し、環境保全、社会貢献に励み、地域の発展に尽くすことが当社の使命と強く認識し、企業経営を推進してまいります。

◆◆ 行動指針 ◆◆

地球温暖化の防止・循環型社会の構築・生物多様性の保全など、持続可能な社会の実現に向けての環境問題に対する活動を印刷業という本業を通して、限りある資源の有効活用、廃棄物の削減及び環境汚染の防止などの環境活動を自主的・積極的に取組みます。

健全な職場環境を維持し、よりよい商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが重要だと考え、ここに「環境経営方針」を定め、従業員一丸となり継続的に環境活動に取り組んでまいります。

1. 全従業員による活動

環境委員会を中心とする体制を構築し、各自の役割と責任を定め全従業員による活動とします。

2. 目標の設定と継続的な取組み

環境に及ぼす影響を考慮し、環境目標を定め、定期見直しにより環境保全の継続的改善を図ります。

3. 環境配慮型製品のサービス推進

環境に配慮した資材を使用しての製品づくりを顧客に提案・推進し、顧客の環境保全活動の支援に努めます。
FSC®認証製品を推進し、顧客の受注拡大に努めます。

4. 環境に配慮した企業活動の取組み

環境影響が小さく、顧客に満足いただける安全で品質の高い商品・サービスを『One Stop. Total Support』で提供します。

5. エネルギーに対する取組み

投入エネルギーを削減し二酸化炭素排出量を削減します。

6. 廃棄物に対する取組み

省資源を重視した製品づくりと、資源の有効活用を促進するためリサイクル活動を推進し、廃棄物排出量の削減に努めます。

7. 環境関連法令等に遵守

事業活動にかかる環境関連の法規制を遵守し、全てのステークホルダーとの信頼関係を維持します。

8. 有害物質に対する取組み

使用する有機溶剤等は環境負荷と健康障害の少ない物を選択し、使用量の削減と適正管理に努めます。

9. 従業員による環境への取組み

全従業員に対して環境教育訓練等を実施し、環境に対する意識を向上させ行動させます。地域活動や社会貢献活動に積極的に取組みます。

10. 環境活動に関する情報の提供

全従業員に対し環境経営方針を周知するほか、ホームページ等を通じて当社の環境への取組みを地域社会に情報提供します。

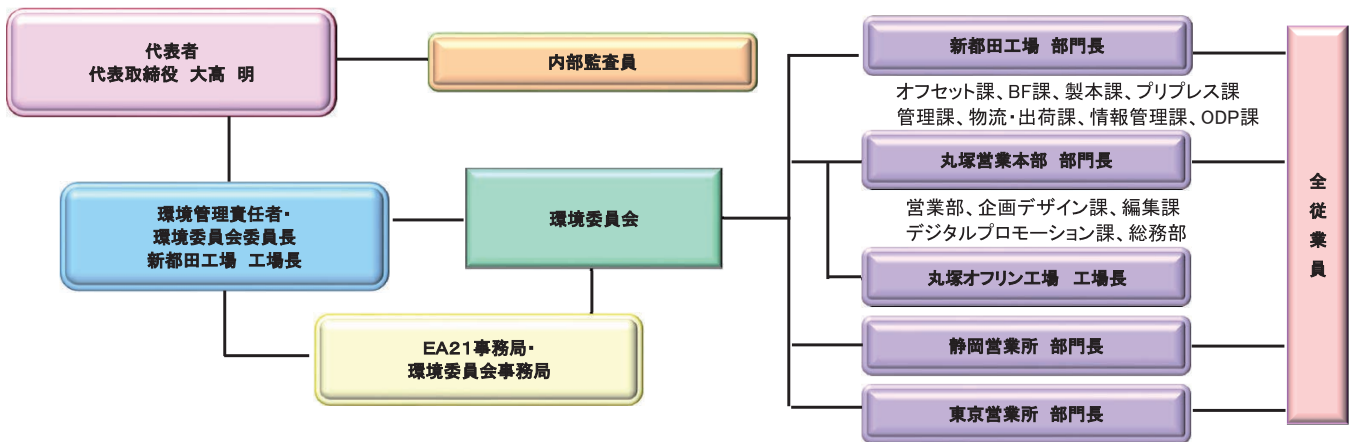
2003年9月1日 制定

2020年9月10日 改定

杉山メディアサポート株式会社
代表取締役 大高 明

9. 実施体制と役割・責任・権限

エコアクション21を運用、維持し、効果的で必要十分な環境経営を実践するため、代表者をトップとする全社員が参加した実施体制を構築し、併せて代表者や各部門の責任者及び担当者などの役割、責任及び権限を次の通り決めました。



担当者	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境管理責任者の任命 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境経営目標、環境経営計画書、環境教育訓練計画書の承認 代表者による全体の評価と見直しの実施 環境経営レポートの承認 内部監査員の任命
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境委員会の委員長 環境部門長の任命 「環境負荷の自己チェック」及び「環境への取組みの自己チェック」結果取りまとめと報告 「環境関連法規等一覧表」の承認 環境経営目標・環境経営計画書、環境教育訓練計画書の確認 一般研修(部門長)や法規制等の教育訓練の実施 環境経営活動の取組み結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 「環境負荷の自己チェック」及び「環境への取組みの自己チェック」の実施 環境経営目標・環境経営計画書、環境教育訓練計画書の策定 環境経営目標、環境経営計画、環境教育訓練に対する実績取りまとめと記録 「環境関連法規等一覧表」の作成及び最新版管理、遵守評価の実施 環境経営方針、環境経営目標達成のための手順を定め文書化 従業員に対する教育訓練の実施 環境関連の内外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、情報提供(事務所内掲示と地域事務局への送付) 環境活動通信作成、情報提供(事務所内掲示) 毎月末「EA21巡回」を実施
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境委員会の開催 環境経営システムに則り、運営における問題点等の報告と対策を協議する 環境保全活動の推進 事故および緊急事態への試行・訓練の実施と記録作成 定期的な巡回と指導
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門に関連する環境経営目標の実施及び達成状況の報告 自部門の問題点の発見と是正及び予防処置の実施 毎月末「環境活動取組み状況」のチェックの実施
内部監査員	<ul style="list-style-type: none"> 内部環境監査の実施と報告
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

毎月第3木曜日に開催している環境委員会では、EA21事務局より「環境経営システム」運営における問題点や環境負荷物質使用量、環境関連法改正、環境問題などの報告と工場内での対策等を協議しています。協議の内容は議事録にまとめ、問題点が発生した場合は、「問題点は正/予防処置票」にまとめ迅速な是正処置(再発防止)に努めています。



環境委員会

10. 環境経営目標

我が社は、業務内容の変化が大きい業種のため、環境経営目標の設定方法は毎年見直しを行い、常に基準年をスライドさせるスライド方式を採用しています。そして、環境経営目標を設定するに当たり、経営における課題とチャンスとの明確化、環境経営方針の策定、環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価、環境関連法規などの取りまとめを踏まえて、次の通り定めています。なお、環境経営目標には、2020年の短期的環境経営目標と2024年迄の中期的環境経営目標を定めています。

<環境負荷項目>

◆全組織

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(削減率)				SDGs目標	
				(基準年)	削減率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	1,294,494.55	1%削減	1,281,549.61	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	3 気候変動 7 再生可能エネルギー 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動対策
		電力使用量削減	総量	kWh	1,929,482	2%削減	1,890,893	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kWh/2工場千枚通し数	5.896	0.1%削減	5.890	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	
		液化石油ガス(LPG)使用量削減	総量	kg	20,735.19	2%削減	20,321.19	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.3054	1%削減	0.3024	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	128,888.91	2%削減	126,310.84	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
	原単位		Nm ³ /オフライン工場千枚通し数	1.043	0.1%削減	1.042	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減		
	ガソリン使用量削減	総量	L	20,233.72	2%削減	19,829.05	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減		
		原単位	走行距離km/L	15.597	1%削減	15.441	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減		
	軽油使用量削減	総量	L	17,083.10	2%削減	16,741.44	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減		
		原単位	走行距離km/L	8.779	1%削減	8.691	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減		
	生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	2,008	2%削減	1,902.5	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減
原単位				m ³ /従業員数	1.061	2%削減	1.040	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	1,047,102	3%削減	1,015,689	4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	6 清潔な水と衛生 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産 13 気候変動対策 14 気候変動対策 15 陸の豊かさ
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	21,961.35	2%削減	21,522.12	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kg/2工場千枚通し数	0.0671	0.2%削減	0.0670	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	0.6%削減	
		有価物排出量増加	総量	kg	970,794	0.5%増加	975,647	0.6%増加	0.7%増加	0.8%増加	0.9%増加	
再資源化率向上	総量	%	97.8	0.1向上	97.9	0.2向上	0.3向上	0.4向上	0.5向上			
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	20,832.01	2%削減	20,415.37	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	3 気候変動 6 清潔な水と衛生 11 持続可能な都市とコミュニティ 12 持続可能な消費と生産
			原単位	kg/2工場印刷版数	0.249	1%削減	0.247	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	1.644	0.01低減	1.634	0.02低減	0.03低減	0.04低減	0.05低減	
	印刷通し数	総量	2工場千枚通し数	327,233								
		総量	新都田工場千枚通し数	203,602								
		総量	オフライン工場千枚通し数	123,631								
	印刷版数	総量	2工場印刷版数	83,644								
走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	315,590								
	ディーゼル車	総量	走行距離km	149,967								
	全従業員数	総量	人	153								

<サステナビリティ>

◆全組織

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(増加率)				SDGs目標	
				(基準年)	増加率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
製品への環境配慮・サービス提供 環境経営の推進	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	11,055.04	3%増加	11,386.69	4%増加	5%増加	6%増加	7%増加	12 持続可能な消費と生産 15 陸の豊かさ	
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	31	5件増加	36	6件増加	7件増加	8件増加		9件増加
	社会貢献活動	会社周辺清掃活動	総量	回	9		9					3 気候変動 4 質の高い教育 5 性別平等 8 持続可能な成長 9 持続可能な産業と雇用 10 公平な社会 11 持続可能な都市とコミュニティ 13 気候変動対策 14 気候変動対策 15 陸の豊かさ
		地域清掃活動	総量	回	3		3					
		交通安全啓発活動	総量	回	2		12					
		エコキャップ回収運動	総量	個	10,084	9%増加	11,000	10%増加	11%増加	12%増加	13%増加	
		グラウンド・ワーク活動への協力(割り箸リサイクル活動)	総量	kg	7.5	3%増加	7.7	4%増加	5%増加	6%増加	7%増加	
トイレトイレットペーパー芯リサイクル活動	総量	kg	9.0	1%増加	9.1	2%増加	3%増加	4%増加	5%増加			

<環境負荷項目>

◆新都田工場

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績		2020年度目標		中長期目標(削減率)				SDGs目標
				(基準年)	削減率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	455,396.83	1%削減	450,842.86	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	3 気候変動 7 再生可能エネルギー 12 持続可能な消費 13 気候変動 15 陸の生態系
		電力使用量削減	総量	kWh	748,991	2%削減	734,011	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kWh/新都田工場千枚通し数	3.679	0.1%削減	3.675	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	
		液化石油ガス(LPG)使用量削減	総量	kg	20,735.19	2%削減	20,321.19	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.3054	1%削減	0.3024	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		ガソリン使用量削減	総量	L	7,752.52	2%削減	7,597.47	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	走行距離km/L	14.952	1%削減	14.802	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		軽油使用量削減	総量	L	17,083.10	2%削減	16,741.44	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	走行距離km/L	8.779	1%削減	8.691	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	1,120	2%削減	1,098	3%削減	4%削減	
原単位	m ³ /従業員数				1.091	2%削減	1.069	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	517,417	3%削減	501,895	4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	6 清潔な水と衛生 11 持続可能な消費 12 持続可能な消費 13 気候変動 14 海の豊かさ 15 陸の生態系
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	16,768.34	2%削減	16,432.97	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.0824	0.2%削減	0.0822	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	0.6%削減	
		有価物排出量増加	総量	kg	491,738	0.5%増加	494,196	0.6%増加	0.7%増加	0.8%増加	0.9%増加	
再資源化率向上	総量	%	96.7	0.1向上	96.8	0.2向上	0.3向上	0.4向上	0.5向上			
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	12,908.04	2%削減	12,649.88	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	3 気候変動 6 清潔な水と衛生 11 持続可能な消費 12 持続可能な消費
			原単位	kg/新都田工場印刷版枚数	0.286	1%削減	0.283	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	2.651	0.01低減	2.641	0.02低減	0.03低減	0.04低減	0.05低減	
新都田工場印刷通し数		総量	千枚通し数	203,602								
新都田工場印刷版数		総量	印刷版数	45,099								
新都田工場走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	115,917								
	ディーゼル車	総量	走行距離km	149,967								
新都田工場従業員数		総量	人	83								

杉山メディアサポートアラカルト

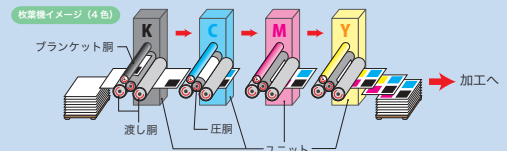
※印:環境効率指標(原単位)とは?

環境経営目標の数値化の例としては、改善の進捗比率(%)を示すもの(例:●年度比●%削減、前年比●%削減)、達成すべき量を示すもの(例:本年排出量●トン)、実施の程度を示すもの(例:グリーン購入率●%)、実施回数を示すもの(例:顧客提案数●回)などがあります。取組の達成度を測る手段として、組織の状況に合った数値化の方法を検討する必要があります。しかしながら、環境経営目標として絶対量を数値目標として策定する場合は、業務量の変化に大きく影響を受けることが考えられます。絶対量による目標策定は重要ですが、環境経営目標を原単位で策定することにより、環境への取組や経営の効率性を高めていくことができます。原単位による目標策定は、例えば電気使用量を生産数量、売上高、従業員数、来客数、稼働率などで割るなど、業務内容に合わせて設定することが考えられます。

我が社の場合は、環境経営目標の絶対量は業務量の変化に大きく影響を受けるため原単位を設定していますが、これは経営上の効果の参考値として算出しているため、評価の対象にはしていません。原単位の分母として、二酸化炭素排出量と電気使用量及び産業廃棄物排出量は丸塚オフリン工場と新都田工場の生産高でもある「印刷時の1,000枚通し数」、LPG使用量は新都田工場の「印刷時の1,000枚通し数」、都市ガス使用量は丸塚オフリン工場の「印刷時の1,000枚通し枚数」、ガソリン・軽油使用量は「走行距離数」、水使用量は「従業員数」、化学物質使用量は「印刷版数」を用いた環境効率指標を設定しています。

印刷通し数とは?

通し数とは、印刷機の生産量を表す単位で、印刷機に用紙を通して印刷される回数のことをいい、多色刷りの場合は色数×印刷枚数が通し数になります。
4色のチラシを作る場合を例にとると、印刷はK(Key tone/ブラック)、C(Cyan/シアン)、M(Magenta/マゼンタ)、Y(Yellow/イエロー)の順で印刷していきます。印刷用紙10,000枚は4つの印刷ユニット(印刷をおこなう装置の部分)を通り、それぞれにインキが付着するので10,000枚×4で40,000枚通しということになります。



10. 環境経営目標

<環境負荷項目>

◆丸塚営業本部(オフリン工場含む)

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(削減率)				SDGs目標	
				(基準年)	削減率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO ₂	823,602.14	1%削減	815,366.13	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		電力使用量削減	総量	kWh	1,163,543	2%削減	1,140,272	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kWh/オフリン工場千枚通し数	9.411	0.1%削減	9.402	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	128,888.91	2%削減	126,310.84	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	Nm ³ /オフリン工場千枚通し数	1.043	0.1%削減	1.042	0.2%削減	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	
		ガソリン使用量削減	総量	L	9,206.72	2%削減	9,022.59	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
原単位	走行距離km/L		15.583	1%削減	15.427	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減			
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	796	2%削減	780	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	m ³ /従業員数	1.149	2%削減	1.126	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	425,691	3%削減	412,920	4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	5,193.01	2%削減	5,089.15	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kg/オフリン工場千枚通し数	0.0420	0.2%削減	0.0419	0.3%削減	0.4%削減	0.5%削減	0.6%削減	
		有価物排出量増加	総量	kg	479,056	0.5%増加	481,451	0.6%増加	0.7%増加	0.8%増加	0.9%増加	
再資源化率向上	総量	%	98.9	0.1向上	99.0	0.2向上	0.3向上	0.4向上	0.5向上			
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	7,923.97	2%削減	7,765.49	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
			原単位	kg/オフリン工場印刷版数	0.206	1%削減	0.204	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	0.0023	0.0001低下	0.0022	0.0002低下	0.0003低下	0.0004低下	0.0005低下	
オフリン工場印刷通し数		総量	千枚通し数	123,631								
オフリン工場印刷版数		総量	印刷版数	38,545								
丸塚営業本部走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	143,467								
丸塚営業本部従業員数		総量	人	57								

<サステナビリティ>

◆丸塚営業本部

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(増加率)				SDGs目標	
				(基準年)	増加率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	9,694.67	3%増加	9,985.51	4%増加	5%増加	6%増加	7%増加	
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	20	5件増加	23	6件増加	7件増加	8件増加	9件増加	

◆静岡営業所

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(増加率)				SDGs目標	
				(基準年)	増加率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	913.07	3%増加	940.46	4%増加	5%増加	6%増加	7%増加	
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	8	5件増加	9	6件増加	7件増加	8件増加	9件増加	

◆東京営業所

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(増加率)				SDGs目標	
				(基準年)	増加率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	447.30	3%増加	460.72	4%増加	5%増加	6%増加	7%増加	
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	3	5件増加	4	6件増加	7件増加	8件増加	9件増加	

<環境負荷項目>

◆静岡営業所

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(削減率)				SDGs目標	
				(基準年)	削減率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
生活環境への影響	大気汚染	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	8,338.56	1%削減	8,255.17	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	3 気候変動に具体的な対策を 7 持続可能なエネルギーを
		電力使用量削減	総量	kWh	4,375	2%削減	4,288	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
地球環境への影響	地球温暖化	ガソリン使用量削減	総量	L	2,758.72	2%削減	2,703.55	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	12 持続可能な消費を 13 気候変動に具体的な対策を
			原単位	走行距離km/L	17.419	1%削減	17.245	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
生活環境への影響	水質汚濁	水使用量削減	総量	m ³	25	2%削減	24.5	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	6 持続可能な水と衛生を 14 持続可能な海洋資源を
			原単位	m ³ /従業員数	0.424	2%削減	0.416	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
生活環境への影響	廃棄物の排出	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	50,691	3%削減	49,170	4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	12 持続可能な消費を 15 陸域生態系を
			地球環境への影響	資源の枯渇								
静岡営業所走行距離数		ガソリン車	総量	走行距離km	48,054							
静岡営業所従業員数			総量	人	4							

<環境負荷項目>

◆東京営業所

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度目標		中長期目標(削減率)				SDGs目標	
				(基準年)	削減率	目標値	2021年	2022年	2023年	2024年		
生活環境への影響	大気汚染	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	7,157.02	1%削減	7,085.45	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	3 気候変動に具体的な対策を 7 持続可能なエネルギーを
		電力使用量削減	総量	kWh	12,573	2%削減	12,322	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	
地球環境への影響	地球温暖化	ガソリン使用量削減	総量	L	515.76	2%削減	505.44	3%削減	4%削減	5%削減	6%削減	12 持続可能な消費を 13 気候変動に具体的な対策を
			原単位	走行距離km/L	15.806	1%削減	15.648	2%削減	3%削減	4%削減	5%削減	
生活環境への影響	水質汚濁	水使用量削減	総量	m ³	67							6 持続可能な水と衛生を 14 持続可能な海洋資源を
			原単位	m ³ /従業員数	0.588							
生活環境への影響	廃棄物の排出	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	53,303	3%削減	51,704	4%削減	5%削減	6%削減	7%削減	12 持続可能な消費を 15 陸域生態系を
			地球環境への影響	資源の枯渇								
東京営業所走行距離数		ガソリン車	総量	走行距離km	8,152							
東京営業所従業員数			総量	人	9							

東京営業所の水使用量については、2019年4月中目黒移転に伴い賃借料に水道料金が含まれたため、2020年の目標数値を立てていません。
また、一般廃棄物についても排出量が概算値であるため、目標項目にはしていません。

杉山メディアサポートアラカルト

印刷版とは？

印刷用の版のことで、PS版と呼ばれるアルミ製の板を使用します。版は「印刷機にセットする大きなハンコ」のようなものです。

平版印刷(オフセット印刷)では、刷版処理を行い、絵柄が焼き付けられた印刷版を印刷ユニットにセットして、インキを載せて一度ブランケットに転写し、ブランケットから用紙に転写させることで印刷が行われます。1,000枚の印刷でも10,000枚の印刷でも、作られる刷版は一度の印刷にのみ使用され、フルカラー印刷の場合は、一度の印刷で「C・M・Y・K」の各色ごとに4枚の版が必要となります。



4枚の印刷版が必要



網点

平版印刷(オフセット印刷)は、版に生成された細かい網状の点によって色を表現しています。この点は網点と呼ばれ、大きさ、密度によって色の濃淡が表現されます。フルカラー印刷では、「C・M・Y・K」4色の網点を重ねることで様々な色を再現しています。

11. 環境経営計画

環境経営計画は、SDGs、経営における課題とチャンスと明確化、環境経営方針、環境経営目標、環境への負荷と環境への取組状況の把握及び評価、環境関連法規の取りまとめ等を踏まえて、次の表の通り策定しています。なお、同環境経営計画には、環境経営目標を達成するための具体的な手段、日程及び責任者も定め、全社員が一丸となって取り組みをするものとしています。

<環境負荷項目>

環境への影響		環境経営計画項目		SDGs	該当部署・責任者・コメント		
					該当部署	責任者	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減		全部門、全従業員 オフセット課、BF課 丸塚オフリン工場 営業部門 物流課	新都田工場 高柳仁誌 丸塚オフリン工場 菅原雅貴	電力のピーク 考え、効率の
			液化石油ガス(LPG)使用量削減			高柳仁誌	空調機のフ します
			都市ガス使用量削減			菅原雅貴	毎日、始動
			ガソリン使用量・軽油使用量削減			藤田司久	安全運転を 運転をしま
					高柳仁誌	納品ルート を控えます	
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減			印刷部門、全従業員	高柳仁誌	手洗い時の しっかり閉
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減			全部門、全従業員	高柳仁誌	コピー・出力 スタート・出
		産業廃棄物排出量削減、有価物排出量増加、再資源化率向上			全部門、全従業員	高柳仁誌	再生できる 徹底し、廃 指導し、実
生命体への影響	人の健康被害	化学物質の適正管理	化学物質使用量・PRTR法第一種化学物質質量削減、 総使用量に対する第一種含有率の低減		印刷部門、プリプレス課	高柳仁誌	使用量を最 余剰在庫を

<サステナビリティ>

環境への影響		環境経営計画項目		SDGs	該当部署・責任者・コメント		
					該当部署	責任者	
環境経営の推進	製品への環境配慮・ サービス提供	環境配慮型製品製造量増加・FSC認証製品受注件数増加			営業部門	藤田司久	環境配慮型 お客様の環 業げます
		会社周辺清掃活動			新都田工場	清水 亨	地域の方々 街づくりへ努
	地域清掃活動			新都田工場、丸塚営業本部	EA21事務局	皆様とともに	
	地域安全活動			安全衛生委員会	清水 亨	地域住民の 従業員の交	
	社会貢献活動		子供の未来育成活動		全部門、全従業員	山口 由紀	小さな活動 実施します
			グラウンド・ワーク 活動への協力		全部門、全従業員	EA21事務局	地味な活動 積み重ねれば ですので終
			トイレトペーパー芯リサイクル活動		全部門、全従業員		

杉山メディアサポートアラカルト

サステナビリティとは？

別名、持続可能性、サステナビリティ(sustainability)ともいい、何かの物事について、現在から将来にわたってそれを持続することが可能である、という概念です。サステナビリティの定義として現在一般的に用いられている表現は、「将来の世代のニーズを資源開発における概念として提唱されましたが、近年はビジネスシーンにおいても考慮されることが多いです。経営戦略や商品の提供などにおいてサステナビリティを確保することは、企業の社会的責任(CSR)の観点からも近年重要視されつつあります。

グラウンド・ワーク活動とは？

製紙会社の生活現場の環境保全と資源の維持を「住民・企業・行政・学校」が一体となって良くて行こうという活動精神をもとに、使用済みの割り箸を回収し、リサイクルを行う活動で、我が社は微力ではありますがこの活動に参加しています。

コメント	取組内容	取組期間											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
を抑えるため作業予定を良い作業を実施します	・ 空調温度の適正化(冷房27℃、暖房22℃)												
	・ デマンド監視装置によるピークカット												
	・ 空調機、エアコンのフィルター清掃												
	・ パソコンの電源プランは省電力プラン設定												
	・ トイレ便座の温度設定(夏季/電源OFF、冬季/低温設定)とタイマー(ON/7:00、OFF/22:00)												
	・ 省エネ機器への更新												
	・ 未使用フロア消灯、昼休み消灯												
	・ フルスイッチ型照明具の利用												
	・ 窓へ農業用遮光シートの貼り付けや梱包資材の活用												
	・ 丸塚オプリン工場照明器具更新検討												
・ 退勤時、パソコン・換気扇の電源OFF													
・ 外灯のタイマーの調節設定変更													
・ エアコン室外機の日除け、散水													
・ 空調温度の適正化(冷房27℃、暖房22℃)													
・ 空調機のフィルター清掃													
・ 高効率ガスヒートポンプ(GHP) への更新													
までに点検を実施します	・ 印刷乾燥機の点検・整備												
第一に、燃費を意識したず	・ エコドライブ10の実践												
	・ 効率の良い営業・納品ルートの設定(運転日報の活用)												
	・ 燃費向上を目的とする車両の整備(タイヤの空気圧、オイル交換)												
	・ 走行距離と燃料使用量のチェック												
考え、無駄な走行を	・ 適正な積載量												
	・ Web会議の活用												
	・ エコカーへの転換												
節水、使用後は蛇口を閉めます	・ 湿し水循環ろ過装置による水交換回数の削減												
	・ 手洗い時の節水啓発表示												
	・ 女子トイレの振音装置利用の徹底												
	・ 節水こまの取付												
	・ 水道蛇口パッキンの交換												
ミス減らすため、力前に必ず確認します	・ 雨水を利用したの散水												
	・ ペーパーレスに努める												
	・ ミス出力防止のため出力前にプレビュー確認												
	・ コピー/出力の縮小・両面・集約機能活用												
	・ 電子メール、掲示板、回覧利用												
	・ ミスコピー防止のためコピー機使用後は設定をリセット												
物を明確にして分別を棄物量を減らすよう施確認を徹底します	・ 保管書類のPDF化												
	・ 余剰製品を作らない(最低製品数を製造)												
	・ 印刷予備紙の削減												
	・ ミスを無くし、刷り直しによる廃棄物の削減												
	・ 廃棄物の分別、3Rの実施												
	・ 廃棄物の分別指導												
	・ 廃棄物の分別項目と保管場所の表示												
	・ 「静岡県産産3Rキャンペーン」への参加												
	・ 印刷予備紙の裏面をコピー用紙に再利用												
	・ 梱包資材の再利用												
低限に抑えるほか、しないよう徹底します	・ 封筒の再利用(作業指示書袋・メール便袋)												
	・ 中間処理業者実地確認												
	・ 安全データシート(SDS)の管理												
	・ 化学物質リスクアセスメント実施												
	・ 溶剤の化学物質把握												
	・ 洗浄剤の代替品検討(有規則第2種使用の制限、PRTR法第一種からの切替)												
	・ グリーンプリンティング認定資材の選択												
	・ 溶剤の在庫数(有機溶剤倉庫内他)チェック、購入量把握と所属長への連絡												
・ VOC警報器の活用													
・ 特殊健康診断年2回実施													

コメント	取組内容	取組期間											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
製品をつくることで境配慮のお手伝いに	・ FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進												
	・ 製品提案と推進のための販促ツールを作成												
の住みやすい綺麗なめま	・ 会社周辺ごみ拾い												
	・ 歩道の草取り												
美しい地域を守ります	・ 静岡県「小さな親切」運動 清掃活動 年2回参加												
	・ 浜松河川国道事務所 クリーン作戦 年1回参加												
方々の安全を守り、意識向上に努めます	・ 会社周辺交差点においてのぼり旗による交通安全啓発活動 月1回実施												
ですが継続して活動を	・ リサイクル活動												
	・ ポリオワクチン支援												
	・ 焼却による二酸化炭素排出削減												
ではありますが、積み重ねる活動継続して実施しています	・ リサイクル活動												
	・ 製紙会社「割り箸リサイクル活動」への協力												
	・ 生活廃棄物の削減とリサイクル活動												

満たす能力を損なうことなく、今日の世代のニーズを満たす」というものです。これは、国際連合の「環境と開発に関する世界委員会」(WCED)から1987年に発行された報告書において言及されています。サステナビリティは、WCEDにおいては、地球環境や

12. 取組実績・目標評価一覧

2020年の取組実績及び環境目標評価の総括結果は、以下の一覧表の通りです。

<環境負荷項目>














目標評価基準

目標達成率が100%以上:達成 

目標達成率が95%以上100%未満:ほぼ達成 









目標達成率が95%未満:未達成 

◆全組織

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	1,294,494.55	1,281,549.61	1,003,103.17	127.8%		・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える ・生産効率を意識した作業の実施
		電力使用量削減	総量	kWh	1,929,482	1,890,893	1,534,197	123.3%		・未使用フロアの消灯、昼休み消灯 ・こまめに消灯 ・空調機フィルター清掃 ・デマンド監視装置によるピークカット
			原単位	kWh/2工場千枚通し数	5.896	5.890	6.999	84.2%		
		液化石油ガス(LPG)使用量削減	総量	kg	20,735.19	20,321.19	14,922.63	136.2%		・空調温度の適正設定(冷房27℃、暖房22℃) ・空調機フィルター清掃
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.3054	0.3024	0.1033	292.7%		
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	128,888.91	126,310.84	90,790.15	139.1%		・印刷乾燥機の点検・整備
	原単位		Nm ³ /オフライン工場千枚通し数	1.043	1.042	1.215	85.8%			
	ガソリン使用量削減	総量	L	20,233.72	19,829.05	18,121.95	109.4%		・エコドライブ10の実践 ・走行距離数と燃料使用量の自己申告実施 ・運転日報活用による効率運転実施 ・車両整備による燃費向上 ・Web会議(毎週月曜日)実施	
		原単位	走行距離km/L	15.597	15.441	15.506	99.6%			
	軽油使用量削減	総量	L	17,083.10	16,741.44	13,532.17	123.7%			
		原単位	走行距離km/L	8.779	8.691	9.052	96.0%			
	生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	2,008	1,902.5	1,556	126.5%	
原単位				m ³ /従業員数	1.061	1.040	0.912	114.0%		
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	1,047,102	1,015,689	797,791	127.3%		・出力前にプレビュー確認 ・コピーの縮小・両面・集約機能活用
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	21,961.35	21,522.12	18,019.16	119.4%		・余剰製品を作らない(最低製品数を製造) ・印刷予備紙の削減 ・廃棄物の分別、3Rの実施 ・廃棄物保管場所の細分表示 「静岡県産廃3Rキャンペーン」への参加 ・産業廃棄物委託基準と保管基準の遵守 ・梱包資材の再利用
			原単位	kg/2工場千枚通し数	0.0671	0.0670	0.0822	81.5%		
		有価物排出量増加	総量	kg	970,794	975,647	659,411	67.6%		
再資源化率向上	総量	%	97.8	97.9	97.3	99.4%				
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	20,832.01	20,415.37	16,027.62	127.4%		・安全データシート(SDS)の管理 ・化学物質リスクアセスメント実施 ・溶剤の化学物質把握 ・洗浄剤の代替品検討(有規則第2種使用の制限、PRT法第一種からの代替) ・VOC警報器の活用 ・特殊健康診断年2回実施
			原単位	kg/2工場印刷版数	0.249	0.247	0.278	88.9%		
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	1.644	1.634	1.621	100.8%		
印刷通し数	総量	2工場千枚通し数	327,233		219,200					
	総量	新都田工場千枚通し数	203,602		144,457					
	総量	オフライン工場千枚通し数	123,631		74,743					
印刷版数	総量	2工場印刷版数	83,644		57,602					
走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	315,590		281,001				
	ディーゼル車	総量	走行距離km	149,967		122,489				
全従業員数	総量	人	153		138					

<サステナビリティ>

◆全組織

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	11,055.04	11,386.69	11,459.65	100.6%		・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	31	36	24	66.7%		・製品提案と推進のための販促ツールの作成
	社会貢献活動	会社周辺清掃活動	総量	回	9	9	6	66.7%		・新都田工場周辺清掃実施 ごみ拾い、歩道の草取り
		地域清掃活動	総量	回	3	3	2	66.7%		・「小さな親切」運動清掃活動、浜松河川国道事務所“クリーン作戦”参加
		交通安全啓発活動	総量	回	2	12	12	100.0%		・会社周辺交差点におけるのぼり旗による交通安全啓発活動 毎月実施
		エコキャップ回収運動	総量	個	10,084	11,000	3,290	29.9%		・リサイクル活動、ポリオワクチン支援、焼却による二酸化炭素排出削減
		グラウンド・ワーク活動への協力(割り箸リサイクル活動)	総量	kg	7.5	7.7	8.5	110.4%		・リサイクル活動、製紙会社「割り箸リサイクル活動」への協力
		トイレトーパー芯リサイクル活動	総量	kg	9.0	9.1	7.0	76.9%		・生活廃棄物の削減とリサイクル活動

<環境負荷項目>

◆新都田工場

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	455,396.83	450,842.86	379,953.92	127.8%	😄	・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える ・生産効率を意識した作業の実施
		電力使用量削減	総量	kWh	748,991	734,011	638,738	114.9%	😄	・未使用フロアの消灯、昼休み消灯 ・こまめに消灯 ・空調機フィルター清掃 ・デマンド監視装置によるピークカット
			原単位	kWh/新都田工場千枚通し数	3.679	3.675	4.422	83.1%	😄	
		液化石油ガス(LPG)使用量削減	総量	kg	20,735.19	20,321.19	14,922.63	136.2%	😄	・空調温度の適正設定(冷房27℃、暖房22℃) ・空調機フィルター清掃
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.3054	0.3024	0.1033	292.7%	😄	
		ガソリン使用量削減	総量	L	7,752.52	7,597.47	7,709.10	98.6%	😄	・エコドライブ10の実践 ・走行距離数と燃料使用量の自己申告実施 ・運転日報活用による効率運転実施 ・車両整備による燃費向上 ・Web会議(毎週月・水曜日)、月初実施
原単位	走行距離km/L		14.952	14.802	15.066	98.3%	😄			
軽油使用量削減	総量	L	17,083.10	16,741.44	13,532.17	123.7%	😄	・Web会議(毎週月・水曜日)、月初実施		
	原単位	走行距離km/L	8.779	8.691	9.052	96.0%	😄			
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	1,120	1,098	873	125.8%	😄	・湿し水循環ろ過装置活用による湿し水交換回数の削減 ・手洗い時の節水啓発表示 ・女子トイレの超音波装置利用の徹底 ・節水こま取付
			原単位	m ³ /従業員数	1.091	1.069	0.938	114.0%	😄	
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	517,417	501,895	384,256	130.6%	😄	・出力前にプレビュー確認 ・コピーの縮小・両面・集約機能活用
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	16,768.34	16,432.97	12,286.08	133.8%	😄	・余剰製品を作らない(最低製品数を製造) ・印刷予備紙の削減 ・廃棄物の分別、3Rの実施 ・廃棄物保管場所の細分表示 ・「静岡県産廃3Rキャンペーン」への参加 ・産業廃棄物委託基準と保管基準の遵守 ・梱包資材の再利用
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.0824	0.0822	0.0850	96.7%	😄	
		有価物排出量増加	総量	kg	491,738	494,196	355,481	71.9%	😞	
再資源化率向上	総量	%	96.7	96.8	96.7	99.9%	😄			
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	12,908.04	12,649.88	10,434.94	121.2%	😄	・安全データシート(SDS)の管理 ・化学物質リスクアセスメント実施 ・溶剤の化学物質把握 ・洗浄剤の代替品検討(有規則第2種使用の制限、PRTR法第一種からの切替) ・VOC警報器の活用 ・特殊健康診断年2回実施
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	2.651	2.641	2.486	106.3%	😄	
新都田工場印刷通し数		総量	千枚通し数	203,602		144,457				
新都田工場印刷版数		総量	印刷版数	45,099		32,094				
新都田工場走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	115,917		116,144				
	ディーゼル車	総量	走行距離km	149,967		122,489				
新都田工場従業員数		総量	人	83		76				

二酸化炭素排出係数・・・

当社が使用する二酸化炭素排出係数は5年を目途に変更しているため、目標値及び実績値は環境省が公開する平成28年度電気事業者別調整後係数を使用しています。

平成28年度実績 二酸化炭素排出係数(調整後排出係数)

新都田工場、丸塚営業本部、静岡営業所 / サーエエナジー: 0.442kg-CO2

新都田工場駐車場 / 中部電力: 0.480kg-CO2

東京営業所 / 東京電力: 0.474kg-CO2

目標評価・・・

目標達成の計算式は以下のとおりです。

削減・減少目標の場合: 目標÷実績×100

増加・向上目標の場合: 実績÷目標×100

杉山メディアサポートアラカルト

印刷予備紙とは？

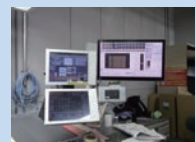
印刷には実際に必要な印刷枚数に加え、一定数の紙を必要とします。

その紙の用途は、

- ①刷り出し用紙・・・版の見合わせや色合わせのための試し刷り用
 - ②刷り損紙・・・印刷の途中の抜き取り検査や汚れ等の確認用
 - ③加工・製本用損紙・・・印刷後、製本加工時のセット時や製本作業の際工程上生じるロス
 - ④見本・納本用紙・・・保存用見本や、納品見本として使用する分の用紙
- などがあります。

当社では、①と②の損紙を「印刷予備紙」、③と④を「加工予備紙」、合わせて「印刷予備紙」と呼んでいます。

予備紙の用途の他にも、印刷用紙に不良が混じっていたり、印刷中のトラブルからロスが生じる可能性がある他、印刷機器や印刷用紙は非常にデリケートで、その日の天候や湿度によってコンディションが違ったり、紙の厚さや特殊紙、特色の色出し、ベタ面積が広い印刷の場合は、試し刷りの回数が多くなり、同時に印刷予備紙を多く使用することになります。これらのことから、少しでも多くの予備紙があることに越したことはありませんが、この予備紙もお客様にご負担いただくものですので、お客様の立場になり少しでも努力が必要となります。また、当社の生産性効率を考えれば、印刷予備紙を少なくすることがベストです。そのため、当社では印刷機に検査装置を取り付け、印刷不良ミスをピンポイントで見つけて損紙を減らす努力を行うことや、印刷オペレーター(作業者)にも技量が必要であり、個々のレベルアップと品質管理に対する意識の徹底を実施することで、この「印刷予備紙」を少なくするようにしています。



12. 取組実績・目標評価一覧

<環境負荷項目>

目標評価基準

目標達成率が100%以上:達成 

目標達成率が95%以上100%未満:ほぼ達成 



目標達成率が95%未満:未達成 

◆丸塚営業本部(オフリン工場含む)



環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO ₂	823,602.14	815,366.13	609,717.56	133.7%		・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える ・生産効率を意識した作業の実施
		電力使用量削減	総量	kWh	1,163,543	1,140,272	880,468	129.5%		・未使用フロアの消灯、昼休み消灯 ・こまめに消灯 ・空調機フィルター清掃 ・デマンド監視装置によるピークカット
			原単位	kWh/オフリン工場 千枚通し数	9.411	9.402	11.780	79.8%		
	地球温暖化	都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	128,888.91	126,310.84	90,790.15	139.1%		・印刷乾燥機の点検・整備
			原単位	Nm ³ /オフリン工場 千枚通し数	1.043	1.042	1.215	85.8%		
	ガンソリン使用量削減	総量	L	9,206.72	9,022.59	7,633.79	118.2%		・エコドライブ10の実践 ・走行距離数と燃料使用量の自己申告実施 ・Web会議(毎週月曜日)実施	
原単位		走行距離km/L	15.583	15.427	15.509	99.5%				
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	796	780	658	118.5%		・手洗い時の節水啓発表示 ・女子トイレの擬音装置利用の徹底 ・節水こま取付
			原単位	m ³ /従業員数	1.149	1.126	1.051	107.1%		
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	425,691	412,920	330,974	124.8%		・出力前にプレビュー確認 ・コピーの縮小・両面・集約機能活用
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	5,193.01	5,089.15	5,733.08	88.8%		
	原単位		kg/オフリン工場 千枚通し数	0.0420	0.0419	0.0767	54.6%			
	資源の枯渇	有価物排出量増加	総量	kg	479,056	481,451	303,930	63.1%		・「静岡県産産3Rキャンペーン」への参加 ・産業廃棄物委託基準と保管基準の遵守 ・梱包資材の再利用
再資源化率向上		総量	%	98.9	99.0	98.2	99.1%			
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	7,923.97	7,765.49	5,592.68	138.9%		・安全データシート(SDS)の管理 ・化学物質リスクアセスメント実施 ・溶剤の化学物質把握 ・洗浄剤の代替品検討(有規則第2種使用の制限、PRTR法第一種からの切替) ・特殊健康診断年2回実施
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	0.0023	0.0022	0.0073	29.6%		
オフリン工場印刷通し数		総量	千枚通し数	123,631		74,743				
オフリン工場印刷版数		総量	印刷版数	38,545		25,508				
丸塚営業本部走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	143,467		118,389				
丸塚営業本部従業員数		総量	人	57		50				

<サステナビリティ>


◆丸塚営業本部

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	9,694.67	9,985.51	10,598.70	106.1%		・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進 ・製品提案と推進のための販促ツールの作成
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	20	23	14	60.9%		

◆静岡営業所

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	913.07	940.46	647.65	68.9%		・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進 ・製品提案と推進のための販促ツールの作成
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	8	9	8	88.9%		

◆東京営業所

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	447.30	460.72	213.30	46.3%		・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進 ・製品提案と推進のための販促ツールの作成
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	3	4	2	50.0%		

<環境負荷項目>

◆静岡営業所

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	8,338.56	8,255.17	7,465.51	110.6%	😊	・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える
		電力使用量削減	総量	kWh	4,375	4,288	3,940	108.8%	😊	・昼休み消灯 ・こまめに消灯 ・空調機フィルター清掃
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	25	24.5	25	98.0%	😊	・手洗い時の節水啓発表示 ・女子トイレの擬音装置利用の徹底
			原単位	m ³ /従業員数	0.424	0.416	0.521	79.9%		
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	50,691	49,170	37,013	132.9%	😊	・出力前にプレビュー確認 ・コピーの縮小・両面・集約機能活用
			原単位	走行距離km/L	17.419	17.245	17.080	101.0%		
静岡営業所走行距離数		ガソリン車	総量	走行距離km	48,054		42,111			
静岡営業所従業員数			総量	人	4		4			

<環境負荷項目>

◆東京営業所

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2019年度実績	2020年度					
				(基準年)	目標値	実績	目標達成率	目標評価	主な取組内容	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	7,157.02	7,085.45	5,966.18	118.8%	😊	・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える
		電力使用量削減	総量	kWh	12,573	12,322	11,051	111.5%	😊	・昼休み消灯 ・こまめに消灯 ・空調機フィルター清掃
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	67					・手洗い時の節水啓発表示 ・女子トイレの擬音装置利用の徹底
			原単位	m ³ /従業員数	0.588					
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	53,303	51,704	45,548	113.5%	😊	・出力前にプレビュー確認 ・コピーの縮小・両面・集約機能活用
			原単位	走行距離km/L	15.806	15.648	4.357	112.6%		
東京営業所走行距離数		ガソリン車	総量	走行距離km	8,152		4,357			
東京営業所従業員数			総量	人	9		8			

二酸化炭素排出係数・・・

当社が使用する二酸化炭素排出係数は5年を目途に変更しているため、目標値及び実績値は環境省が公開する平成28年度電気事業者別調整後係数を使用しています。

平成28年度実績 二酸化炭素排出係数(調整後排出係数)
 新都田工場・丸塚営業本部、静岡営業所 / サーラeエナジー:0.442kg-CO2
 新都田工場駐車場 / 中部電力:0.480kg-CO2
 東京営業所 / 東京電力:0.474kg-CO2

目標評価・・・

目標達成の計算式は以下のとおりです。

削減・減少目標の場合: 目標÷実績×100

増加・向上目標の場合: 実績÷目標×100

杉山メディアサポートアラカルト

環境配慮型印刷製品とは？

当社では環境に配慮した資材を使用して、環境ラベルをつけた印刷製品を「環境配慮型印刷製品」と呼んでいます。

環境ラベルとは、環境に配慮した製品やサービスに関してシンボルマークを用いて製品の環境側面に関する情報を提供するものを行い、環境配慮商品の優先的な購入を促すためのものです。

(1) 環境ラベル(マーク)の種類

- ・国及び第三者機関の取組による環境ラベル・・・国際エネルギースタープログラムラベル、省エネラベル、燃費基準達成ステッカー、低排出ガス車認定ラベル、エコマーク、FSC®森林認証制度ラベルなど
- ・事業者団体の取組による環境ラベル・・・PCグリーンラベル、グリーンプリンティング認定制度マーク、インクNL規制マーク、植物油インクマーク、リサイクル適性マーク、CSR認定マークなど
- ・事業者の取組による環境ラベル・・・ISOタイプII規格に準拠したラベル(事業者等の自己宣言による環境主張)
- ・地方公共団体の環境ラベル
- ・表示識別マーク・その他のマーク・・・アルミ缶、スチール缶、PETボトル、紙製容器包装、プラスチック容器包装など

(2) 印刷製品に表示できる環境ラベル(マーク)

印刷製品に表示できる環境ラベル(マーク)は、紙、インク等の印刷資材から製造工程、CO₂排出、リサイクルに至るまで多くの種類があります。

・当社で表示できる環境ラベル・・・FSC®森林認証制度ラベル、グリーンプリンティング認定制度マーク、植物油インクマーク、リサイクル適性マーク、CSR認定マーク

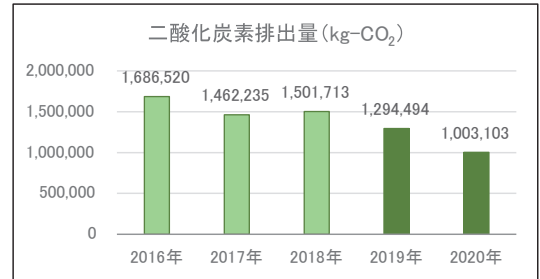
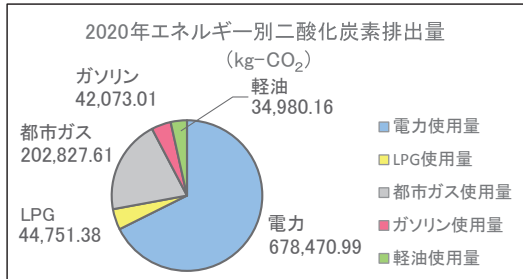
13. 取組内容とその評価

エコアクション21の各種取組事項について、2020年にどのような内容を実施したのか、その結果はどうであったのか、また、次年度はそれらの取り組みをどのような方向性に導いて行くのか等について記載します。

1 生活環境への影響・地球環境への影響

(1) 大気汚染・地球温暖化

ア. 二酸化炭素排出量削減



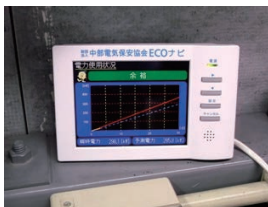
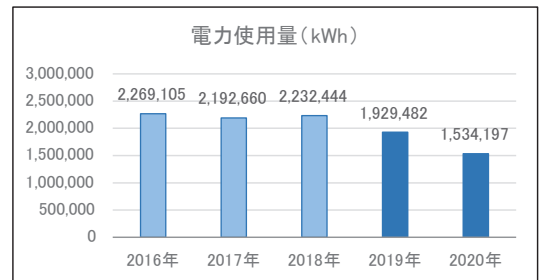
■取組内容
 負荷物質量が最も多い電力使用量を抑える生産効率を意識した作業の実施

■評価
 電力と都市ガスの使用量は製造に係るものであるため、生産高(印刷通し数)に大きく影響されるものではありませんが、生産効率を高めるほか、社員による節電対策も重要だと考えられます。二酸化炭素排出量経年推移表でも確認できますが、年々減少傾向にあるため次年度も継続的な取り組みが必要です。

■次年度の取組
 継続

イ. 電力使用量削減

- a. 使用用途：生産設備、照明器具、OA機器、エアコン
- b. 使用量目標：1,890,893kWh 実績：1,533,470kWh
- c. 原単位目標：5.890 実績：6.996



デマンド監視装置によるピークカットを実施



節電啓発表示



空調設定温度啓発表示とフィルター清掃表。フィルター清掃の確認は、月末パトロールで実施



人がいない箇所はキャノピーイッチで蛍光灯を消す

■取組内容
 未使用フロアの消灯、昼休み消灯、こまめに消灯、空調機フィルター清掃、デマンド監視装置によるピークカット

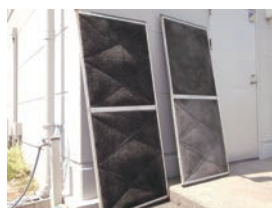
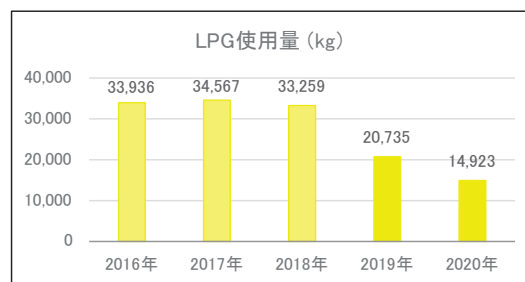
■評価
 コロナ禍による生産量の減少により電力使用量は減少していますが、原単位では高くなってしまいました。印刷工程では、色合わせの刷り出しを数回行ったあとに本刷りに入ります。この刷り出しは数十枚を印刷したり、止めることを繰り返すため、電力に負荷がかかります。本刷りの枚数が5千枚であっても5万枚でも、この刷り出しは実施するため電力使用量が通し数に関係してきます。今後の取り組みとしては、少しでもこの刷り出し枚数と回数を減らす技術力アップが期待されます。今年度はデマンド監視装置によるピークカットに重視し、電力の基本料金を下げて経費削減に繋がりました。また、事務局からこまめな消灯の実践を強く呼びかけました。小さなことではありますが、社員の意識を高め継続して実施していきたいものです。エアコンのフィルター清掃は、事務所では比較的清掃時間が取りやすいため週1回程度実施されていましたが、工場現場では月1回を目安として実施している部署がありました。

■効果
 電力基本料金削減額 前年比▲553,570円

■次年度の取組
 継続

ウ. 液化石油ガス(LPG)使用量削減

- 使用用途: 新都田工場空調機
- 使用量目標: 20,321.19kg 実績: 14,922.63kg
- 原単位目標: 0.3024 実績: 0.1033



空調機フィルター清掃



空調設定温度の啓発表示



高効率ガスヒートポンプエアコン
2018年1月導入

■取組内容

空調温度の適正化(冷房27°C、暖房22°C)
空調機フィルター清掃
高効率ガスヒートポンプ(GHP)への更新

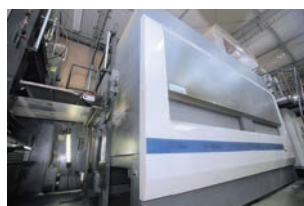
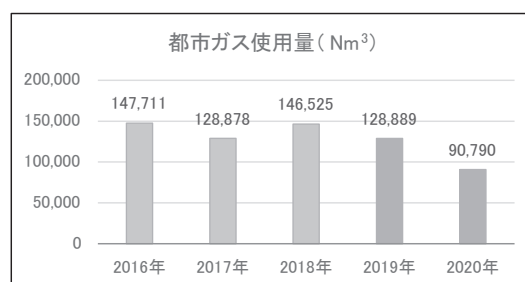
■評価

印刷現場では、温度25°Cと湿度50%の維持のため空調機を利用して管理しています。オフセット印刷では刷り本のブロッキング(裏移り)防止パウダーを使用しています。このパウダーの成分は植物性澱粉ですが、 μ 粒子と大変小さいため工場内に舞い上がり空調機の吸入口に入りやすく、空調機のフィルターの目詰まりを起こしてしまいます。そのため、週1回のフィルター清掃を実施するように指導しました。ビジネスフォーム印刷課で使用していた空調機2台を2018年に高効率化したことで使用量が激減しました。2020年1月~3月は暖冬のため使用量が減り、8月には浜松市が全国最高気温を記録する猛暑となりましたが使用量は減る結果となりました。その他の経年劣化したガスヒートポンプエアコンの更新は次年度に繰り越します。

■次年度の取組
継続

エ. 都市ガス使用量削減

- 使用用途: 丸塚オフリン工場 印刷乾燥機
- 使用量目標: 126,310.84Nm³ 実績: 90,790.15Nm³
- 原単位目標: 1.042 実績: 1.215



印刷後、インキを熱風乾燥及び脱臭する
乾燥脱臭装置

■取組内容

印刷乾燥機の点検・整備

■評価

オフセット輪転印刷機は、給紙→印刷→乾燥→冷却→折加工が自動で行われ、その後は結束工程まで自動化されています。乾燥工程は乾燥装置と脱臭装置からなり、乾燥装置の真上に設置されている燃焼室で都市ガス(主成分:メタン)を燃焼させて作られる約150~300°Cの熱風を上下のノズルから印刷物に直接当てて乾燥するようにしています。

省エネ対策として、乾燥機の空気比低減による燃料消費量削減を実施している他、印刷乾燥機の点検・整備ができていました。しかしながら、印刷版待ち等による時間のロスが作業日報で見られ、このロス時間も印刷乾燥機は電源を入れたままになっており、無駄な使用量となっていましたので、次年度は作業予定の立て方に取り組んでいく必要があります。

■次年度の取組

印刷乾燥機の点検・整備継続
作業予定の立て方と社内ルールの見直し

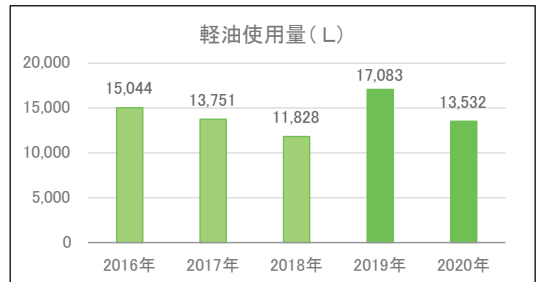
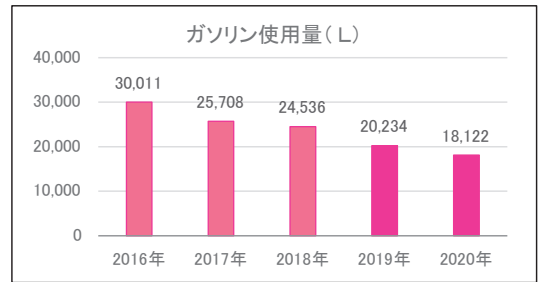
13. 取組内容とその評価

オ. ガソリン使用量削減

- a. 使用用途: 営業車両14台 配送、社内便他車両6台
- b. 使用量目標19,829.05L 実績: 18,121.95L
- c. 原単位目標: 15.441 実績: 15.506

カ. 軽油使用量削減

- a. 使用用途: 配送車両5台
- b. 使用量目標: 16,741.44L 実績: 13,532.17L
- c. 原単位目標: 8.691 実績: 9.052



車両使用者は走行距離と燃料使用量及び燃費を報告

乗車前、車両点検実施

■取組内容

- エコドライブ10の実施
- 効率の良い営業・納品ルートの設定(運転日報の活用)
- 燃費向上を目的とする車両の整備(タイヤの空気圧、オイル交換)
- 走行距離と燃料使用量のチェック
- 適正な積載量
- Web会議の活用
- エコカーへの転換

■評価

営業リース車両の入替時にはエコカーへの転換を実施できましたが、リース車両以外のエコカー保持数の増加はありませんでした。運転日報には車両整備点検リストも追加され、日々の車両メンテナンスが実施されました。車両担当者による走行距離数と燃料使用量を元に燃費算出をして、自身のエコドライブ意識を高めてきました。8月からは毎月末営業日に必ず給油をして、1ヶ月の燃費を正確に算出することを実施しました。

Web会議は毎週月曜日と水曜日に実施し、ガソリン及び軽油使用量共に目標を達成することができました。

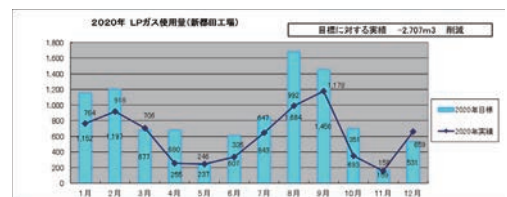
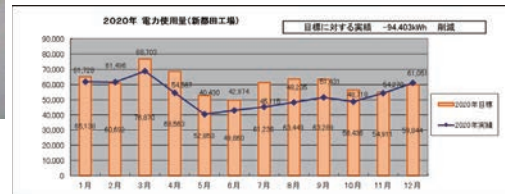
■次年度の取組

継続



環境負荷物質使用量やコピー/出力紙使用量、走行距離数・給油量・エコドライブをまとめて毎月「環境活動通信」として発行しています

使用量や排出量は一目でわかるよう、グラフ化して掲示しています

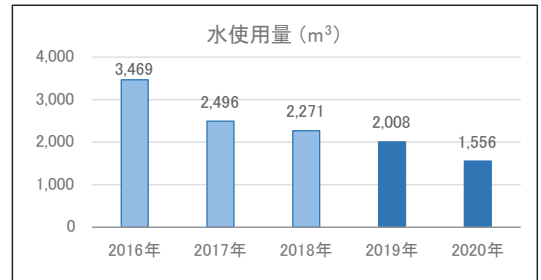


グラフは目標値に対しての実績を載せています

(2) 水質汚濁・資源の枯渇

ア. 水使用量削減

- a. 使用用途: 印刷機湿し水、生活用水
- b. 使用量目標: 1,902.5m³ 実績: 1,556m³
- c. 原単位目標: 1.040 実績: 0.912



湿し水循環装置と高性能フィルター過装置



節水啓発表示



女子トイレには擬音装置を取り付

■取組内容

湿し水循環ろ過装置による湿し水交換回数の削減
 手洗い時の節水啓発表示
 女子トイレの擬音装置利用の徹底
 節水こまの取付
 雨水を利用したの散水

■評価

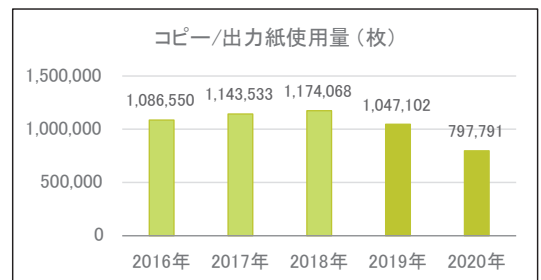
平版印刷機2台に湿し水循環ろ過装置を導入(2016年)して以来、湿し水交換回数が減ったことにより水使用量が減少しています。丸塚営業本部に設置済みであった節水こまを新都田工場でも取り付け、更に上水使用量を削減しました。

■次年度の取組
 継続

(3) 資源の枯渇

ア. コピー/出力紙使用量削減

- a. 使用用途: コピー紙、出力紙
- b. 使用量目標: 1,015,689枚 実績: 797,791枚



出力前にプレビュー確認表示



コピー紙、出力紙は印刷予備紙の裏紙を利用

印刷工程では印刷用紙に加え、本刷り前の刷り出し損紙と印刷予備紙、加工工程で使用する加工予備紙が必要となる。この時の予備紙を最低数としているが、余った紙をコピー紙、出力紙に再利用

■取組内容

出力前にプレビュー確認
 コピーの縮小・両面・集約機能活用

■評価

毎月発行している「環境活動通信」のコピー・出力紙使用枚数欄を前月に加え前々月を明記したことにより、各部署ごとに使用量比較が明確になり、削減意識が向上して使用量削減に繋がりました。総務部総務課と経理課では、書類の保管が多いため出力紙での保管からPDFでのデータ保管に切り替えて実施しました。

■次年度の取組
 継続

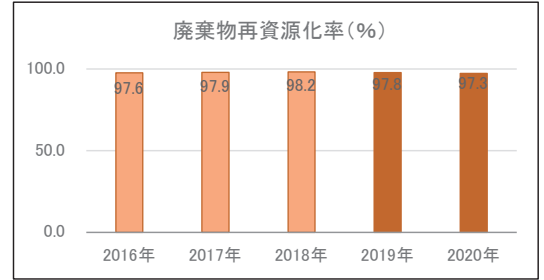
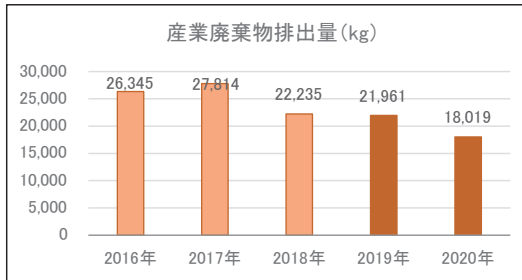
13. 取組内容とその評価

(4) 廃棄物の排出・資源の枯渇

ア. 産業廃棄物排出量削減・有価物排出量増加・再資源化率向上



- a. 産業廃棄物の種類: 廃油、廃酸、廃強アルカリ、廃プラスチック類
- b. 有価物: 紙くず(断裁くず、ダンボール、刷り出し損紙、廃棄製品、雑紙、機密書類)
廃プラスチック類、鉄類(一斗缶・インキ缶)、廃印刷版、オフリン工場紙管
- c. 再資源化率: 全排出量に対する有価物量
- d. 産業廃棄物排出量目標: 21,522.12kg 実績: 18,019.16kg
- e. 原単位目標: 0.0670 実績: 0.0822
- f. 有価物排出量目標: 975,647kg 実績: 659,411kg
- g. 再資源化率目標: 97.9% 実績: 97.3%



■取組内容

余剰製品を作らない(最低製品数を製造)
印刷予備紙の削減
廃棄物の分別、3Rの実施
廃棄物保管場所の細分表示
「静岡県産廃3Rキャンペーン」への参加
産業廃棄物委託基準と保管基準の遵守
梱包資材の再利用

■評価

印刷工程での色合わせ時の刷り出し用紙と製本加工工程での断裁くずや予備製品、余剰製品等の紙くずは有価物として排出します。取り組みの内容としては、余剰製品を作らないため最低製品数を製造することに重点をおき、印刷用紙発注時の枚数削減と、印刷工程での刷り出し数の削減に加え、本刷り用紙を次の製本加工工程での最低必要枚数に抑えることを実施しました。本年は生産量減少により産業廃棄物排出量は大幅に減少しましたが、原単位は増加してしまい再資源化率も目標達成には至りませんでした。

■次年度の取組
継続

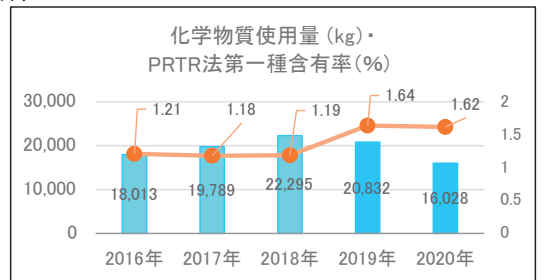
2 生命体への影響

(1) 人の健康被害

ア. 化学物質使用量・PRTR法第一種化学物質使用量削減、総使用量に対する第一種含有率の低減



- a. 使用用途: 湿し水H液、洗浄剤、現像液、補充液、ガム液、製本接着剤
- b. 使用量目標: 20,415.37kg 実績: 16,027.62kg
- c. 原単位目標: 0.247 実績: 0.278
- d. PRTR法第一種含有率目標: 1.634 実績: 1.621



■取組内容

安全データシート(SDS)の管理
化学物質リスクアセスメント実施
溶剤の化学物質量把握
洗浄剤の代替品検討(有規則第2種使用の制限、PRTR法第一種からの切替)
グリーンプリンティング認定資材の選択
溶剤の在庫数チェック、購入量把握と所属長への連絡
VOC警報器の活用
特殊健康診断実施

■評価

化学物質の使用量を把握することが困難なため購入量集計をしています。化学物質使用量及びPRTR法第一種含有率は目標を達成することができましたが、これは生産量減少によるものであり、原単位は増加となってしまいました。化学物質を常時使用している従業員は健康に対する意識向上のため、VOC警報器を活用して曝露を防ぐ取組を継続実施しています。年2回の特殊健康診断の結果、異常が確認された従業員はいませんでしたので、引き続き要重点項目として実施していきます。また、化学物質は会社周辺環境への影響も懸念されるため、工場の環境配慮として決められているルールを守り実践していました。また、化学物質リスクアセスメントも十分に実施されていました。PRTR法第一種指定物質を多く含む洗浄剤について代替検討をしましたが、購入価格が高く生産量が減少している中での代替は見送ることとなりました。溶剤の在庫数に関しては、月別の購入数を所属長に連絡することで、ケース買い以外のバラ買い数を削減して在庫数を必要最低限に抑えることができました。

■次年度の取組
継続

3 環境経営の推進

(1) 製品への環境配慮・サービス提供



環境配慮型製品について説明します。

印刷資材を環境配慮した用紙やインキ・加工資材を使用して『環境ラベル』を付けた印刷製品を環境配慮型製品といいます。

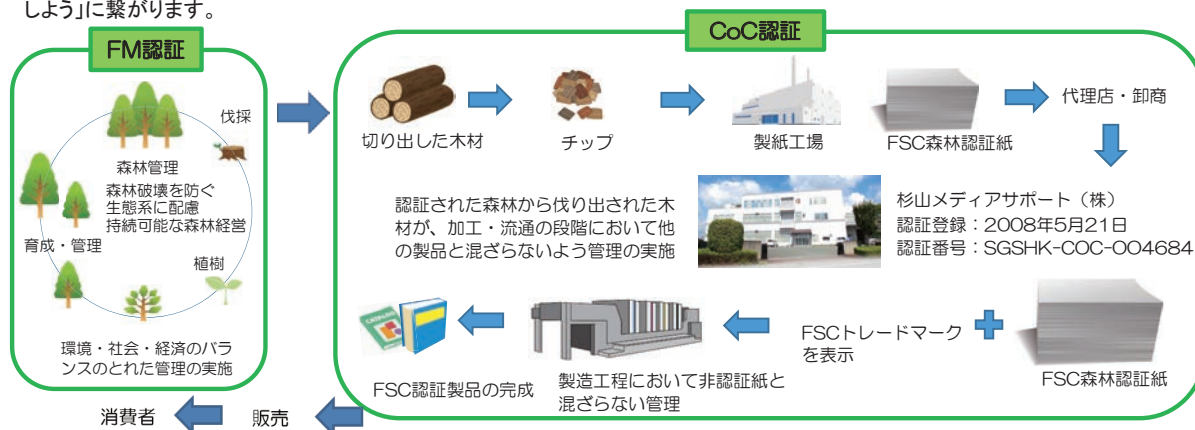
環境配慮型製品を発注していただいたお客さまは、環境保全としての企業活動を広く一般に伝えることができ、これがお客さまの環境への取り組みが高く評価されることに繋がります。また、『環境ラベル』という新しい情報により、消費者が環境負荷の少ない製品を選ぶときの手助けになることが期待され、社会全般の環境保全活動に発展していくものと期待されています。

↑ FSC®は木材を生産する世界の森林(FM認証)と、その森林から切り出された木材の流通や加工のプロセスを認証(CoC認証)する国際機関です。

- この認証は、
1. 森林の環境保全に貢献している
 2. 地域社会の利益にかなっている
 3. 経済的にも継続可能な形で生産されている

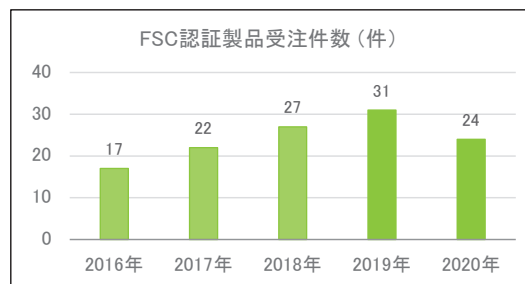
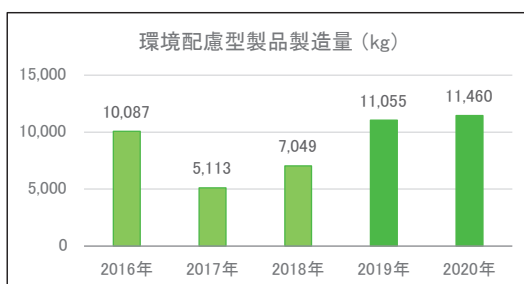
これら3つの要件を満たした原料で製造された製品に、FSCトレードマークを付けて消費者に届ける仕組みです。

FSCトレードマークの付いた製品は、「適切に管理された森林」に由来する製品であると保証された環境配慮型製品となります。また、生産者から消費者まで「森を守る活動」に寄与しているとされるため、SDGsのターゲット「17パートナーシップで目標を達成しよう」に繋がります。



ア. 環境配慮型製品製造量増加、FSC認証製品受注件数増加

- a. 対象製品:FSC認証製品
ふじのくに森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した印刷製品
- b. 製造量目標:11,386.69kg 実績:11,459.65kg
- c. FSC認証製品受注件数目標:36件 実績:24件



■取組内容

FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進
製品提案と推進のための販促ツールを作成

■評価

再生紙の材料となる古紙が中国に流れ、日本国内で古紙が品薄となり再生紙は受注生産に変わったため入手困難な状況にあります。そのため、官公庁でもFSC認証紙を使用するようになりました。また、東京都のグリーン製品基準にFSC認証製品が上げられたことや、『東京オリンピック2020』でもFSC認証製品への関心度は高く評価されています。コロナ禍で受注が大幅に減少しましたが、これらはピンチをチャンスに変える絶好の機会ですので、受注拡大に繋がりたいものです。製品提案と推進のための販促ツール作成ですが、思うように進んでいない状態ですので、次年度には活用できるようにしていきます。

■次年度の取組 継続

※ふじのくに森の町内会「間伐材に寄与する紙」については下記ホームページを参考にしてください。

<http://www.pref.shizuoka.jp/kankyoku/ka-080/mori/kigyuu/fmori-cho/3kanbatu.html>

14. 従来から実施している対策・活動

我が社は、2004年にエコアクション21を認証・取得して依頼、16年間に渡り、事業活動による環境へ与えている負荷を削減又は軽減するために、各種の環境保全活動や地域貢献活動を実施して来ました。ここでは、その主な取組内容をご紹介します。

1 大気汚染防止対策、悪臭防止対策

(1) 工場内の対策

ア. VOC(揮発性有機化合物)発生抑制

使用する印刷インキはNL規制*に基づいて製造された印刷インキを使用しています。印刷機の洗浄等に使用する溶剤からVOC(揮発性有機化合物)の発生を抑制するための対策として、溶剤を拭き取ったウエスは、専用BOXに入れて必ず蓋をするようにしています。一部印刷機械には自動洗浄装置を設置した他、洗浄剤を含んだ洗浄布を使用してVOC発生を抑制しています。



NL規制マーク



使用済みウエス蓋閉め啓発表示



含浸型洗浄布

NL規制とは、「原則として全てを認可するが、禁止するものだけを一覧表とする」規制方法で、安全衛生上人体や環境に有害なおそれのあると考えられている物質をリストアップ(NL:ネガティブリスト)し、その使用を禁止する方法です。印刷インキは様々な用途に各種印刷方式で使用され、多岐にわたる機能が要求されるので、多種多様な化学物質が使用されています。NL規制対象物質は、国内外の法令、及び化学物質の有害性情報をもとにした選定基準によって選定され、毎年対象物質の追加・削除等の見直しを行っています。印刷インキ工業連合会ホームページより引用

イ. 窓の開放禁止、ゾーニングカーテン設置、出入口シャッター利用の制限

印刷機に使用する洗浄剤等から発生したVOC(揮発性有機化合物)を大気中に排出させない対策として、窓に開放禁止表示をしたり、印刷エリアと搬入出エリアにゾーニングカーテンを設け、出入口シャッターの利用は荷物の搬入出に制限して人のみの通行を禁止しています。



窓開放禁止表示



ゾーニングカーテン設置



出入口シャッター利用制限

(2) 工場敷地内の対策

ア. VOC(揮発性有機化合物)発生抑制、悪臭防止対策

廃棄物は産業廃棄物及び有価物として全てを排出し、工場敷地内では焼却を行っていません。有価物である廃インキ缶はゴミ袋に入れ屋外でコンテナ保管をしていますが、VOC発生及び悪臭対策として保管倉庫を建てました。更に保管倉庫を開けた時の対策として、トラック荷台シートと活性炭シートをコンテナに覆い、廃油ドラム缶にはビニール袋を被せています。



Before 屋外で雨ざらし日ざらし状態



After 保管倉庫を建てました



活性炭シートと荷台シートで倉庫内の悪臭防止

杉山メディアサポートアラカルト

自動洗浄装置とは？

オフセット印刷の生産性は、版替え時間や払拭洗浄作業のダウンタイムをいかにして最小限に抑えるかが重要なポイントになります。手洗いによるブランケット(ゴム製の転写ローラー)の洗浄が、最も多くの時間を占め、特に多色機では、この作業に時間がかかるため自動洗浄装置を設置してタイムロスを減らします。また、洗浄剤を含んだ含浸型不織布方式ブランケット洗浄装置は、保液性に優れた洗浄布による拭取洗浄方法のため、作業時間の軽減と必要以上に洗浄剤を使うことなくVOC発生抑制や経費削減に繋がります。

イ. 窒素酸化物 (Nox)・粒子状物質 (PM) 排出抑制

配送車両は自動車Nox・PM法で規制されている対策地域への乗り入れはありませんが、規制対象となる車種を所有しているためNOx・PM排出基準適合車を使用し、営業車両は低公害車であるハイブリッド車を使用しています。
GHP (ガスヒートポンプ) エアコン2台を低Nox型小規模燃焼機器であるNOx排出濃度を達成したGHPエアコンに改修しました。



自動車Nox・PM法適合車使用



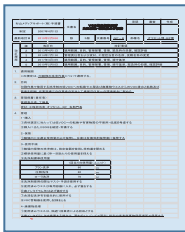
ハイブリッド車使用



高効率GHPエアコン 2018年改修

(3) 環境汚染対応の遵守方法と確認

大気汚染防止対策、悪臭防止対策の遵守方法として、対策項目のチェックを毎月末に実施し「エコアクション21巡回」と「5Sパトロール」に記録しています。その際、守られていない項目があればその場で所属長に改善を求めています。浜松市の臭気指数規制は、市内に立地する全ての工場・事業場に適用されるため、法規制はありませんが有資格者による臭気測定を定期的実施しています。



VOC排出抑制・大気汚染・悪臭防止手順書



5Sパトロールチェック表



有資格者による臭気測定

2 水質汚濁防止、土壌汚染対策

(1) 法改正による対応

現像処理に使用している現像液に規制対象物質が含まれているため、現像機は水質汚濁防止法で有害物質使用特定施設に指定されます。そのため、廃液は誤って下水に流さないように注意が必要となり、産業廃棄物として適正管理と適正排出義務が生じます。水質汚濁防止法改正前は地下タンクに廃液を保管していましたが、法改正後はポリ容器に保管することにしました。その地下タンクを廃止する際には土壌汚染調査を実施して、汚染基準以下であることを確認しました。



Before 廃液地下タンク



廃液地下タンク直下土壌調査



After 廃液はポリタンクに入れ、プラ舟で保管

(2) 土壌汚染対策、冠水防止対策

経年劣化したGHPエアコンを使用していたため油漏れが発生し、土壌汚染と雨水路汚染が発生してしまいましたので、高効率GHPエアコンに改修して汚染対策を実施しました。生活排水の一部である食堂からの排水はグリストラップを通して油脂分を分離後排水しています。このグリストラップの処理維持のため、油吸着シートとゴミ取りネットを利用し、定期的に清掃を実施しています。雨水路柵には落ち葉が溜まりやすいため、周辺の冠水防止対策として定期的に除去清掃を実施しています。



Before 室外機からの油漏れによる土壌汚染



After 室外機改修により改善しました



従業員全員で雨水路掃除

14. 従来から実施している対策・活動

(3) 環境汚染対応の遵守方法と確認

法で規制されている「有害物質使用特定施設 管理要領」を作成して年1回の点検を実施と、有資格者による排水調査を実施しています。更に自主的な点検として漏洩状況やpH測定を日々実施しています。有害物質使用特定施設から下水に直接排水される仕組みではありませんが、万が一のための漏洩訓練も実施しています。



有害物質使用特定施設 管理要領、点検簿 有資格者による排水調査 年1回実施 排水口のpH測定を実施しています

3 騒音・振動対策

(1) 工場内の対策

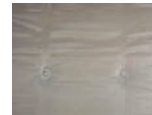
静岡県生活環境の保全等に関する条例により、空気圧縮機・印刷機械・冷凍機は特定施設に指定されているため行政への届出を完了しています。騒音規制基準においては敷地境界線から30m以内に第1種低層住居専用地域(第1種区域)があるため、さらに厳しい基準を遵守する必要があります。そのため、住居専用地域側の壁にはグラスウール剤を充填した防音パネルを設置したり、工場1階の床は防振ゴムを貼って騒音・振動の発生を抑制しています。



騒音・振動抑制手順書



グラスウール剤を充填した防音パネルを設置



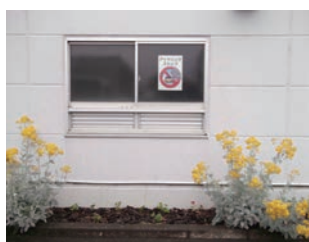
工場1階に防振ゴムを施工

(2) 工場敷地内の対策

工場敷地内から騒音・振動を発生させないため、工場の窓は常時開放を禁止、工場出入口シャッターは常時閉めている他、停車車両はアイドリングストップを実施、フォークリフトの使用時の注意としては、騒音の発生が少なく環境に優しい充電式フォークリフトの優先使用を呼びかけ、構内走行速度の遵守を徹底しています。



フォークリフト運転手順書



アイドリングストップ表示



充電式フォークリフトを優先使用。構内制限速度も表示しています



(3) 環境汚染対応の遵守方法と確認

法における騒音・振動測定義務は発生しませんが、自主測定を年2回と有資格者による測定を定期的に行っています。

敷地境界線における規制基準

騒音(第4種区域) 昼間8時~18時:65dB 朝6時~8時・夕18時~22時:60dB 夜間22時~6時:55dB

振動(第2種区域の2) 昼間8時~20時:70dB 夜間20時~8時:65dB



フォークリフト運転者騒音抑制教育訓練



有資格者による騒音・振動調査



自主的に騒音・振動測定を実施しています

4 廃棄物管理対策 (1) 工場内の対策

工場からの廃棄物を減らすためには、各部署からの廃棄物をしっかりと分別して使えるものを再利用する対策が重要です。部署ごとに燃えるごみ、雑紙やプラスチック類の再資源ごみなど種類ごとにごみ箱を分けてあります。印刷版現像機には、現像後に排出される廃液を濃縮廃液と蒸留再生水に分離して廃液を減量する装置を設置しています。



部署ごとに明確な表示でしっかり分別 【雑紙収集BOX】入れてはいけないものを注意表示 現像廃液削減装置

(2) 工場敷地内の対策 ア. 保管基準

産業廃棄物保管場所に屋根付きコンクリート敷シャッター倉庫を建てました。それまでの保管場所には床が所どころ空いている小さな倉庫が3棟と屋外保管であったため、保管基準を満たしたものではありませんでした。倉庫内は廃棄物ごとに専用BOXを設け、入れる物を細かく表示することで間違った分別はなくなりました。倉庫が新しく綺麗になったことで、従業員の使い方や廃棄物の分別意識も向上しました。



廃棄物管理手順書

Before



After



3連1棟とVOCが発生する廃インキ缶と廃溶剤缶、廃油ドラム缶専用の1棟が2018年に完成しました



産業廃棄物保管場所法定表示



廃棄物ごと専用BOXと廃棄物表示



Reuse



紙製のインキ容器を利用して、蛍光灯保管BOXを作りました



杉山メディアサポートアラカルト

現像廃液削減装置とは？

印刷版を現像するには、現像機に現像液と補助液、定着液を使用します。

現像が終わるとこれらは廃液となりますが、この廃液を濃縮することで、産業廃棄物として排出される廃液量は1/8になり、残りの7/8は再利用可能な再生水になります。

14. 従来から実施している対策・活動

イ. 委託基準

許可を受けた収集運搬業者及び処理業者のそれぞれと書面による委託契約を締結しますが、処理業者は優良認定事業者を優先選択しています。優良認定事業者を選択することで、電子マニフェスト制度の利用が可能となり実地確認も不要となります。(但し処理状況は公開情報により確認)電子マニフェスト制度を利用したことで、処分状況が画面上で確認できるだけでなく、マニフェスト情報をダウンロードして活用でき、大量の書類保管もなくなりましたので事務の簡素化に繋がっています。

収集・運搬、処分業者契約一覧を作成して許可証有効期限を管理



優良認定事業者を優先選択

2018年6月から完全電子マニフェスト制度利用

ウ. 実地確認・廃棄物性状調査の実施

排出事業者が、自社の産業廃棄物の処理委託先を訪問し、適正な処理が行われているかどうかを確認する実地確認を年1回実施していますが、優良認定事業者においては、浜松市条例により公開されている処理状況の確認を行っています。また、廃液は廃酸と腐食性廃アルカリ(特別管理産業廃棄物)になるため、年1回の性状調査を実施して、処理業者に提出をしています。



産業廃棄物処理施設の実地確認



産廃情報ネット さんぱいくん利用



産業廃棄物処性状調査実施 調査結果は処理業者に提出しています

エ. 静岡県「産廃3Rキャンペーン」参加

「産廃3Rキャンペーン」とは、静岡県が2011年度から実施している循環型社会の形成を目指して、産業廃棄物の排出事業者が自主的に行う削減に向けた取り組みを推進するものです。これは第3次静岡県循環型社会形成計画において、産業廃棄物の最終処分率を2013年度基準値と同率を目標にしています。年度初めに前年度からの削減目標と取組内容を設定して提出、その結果を翌年度に報告します。当社はこの取り組みに賛同して2016年度から継続参加しています。



削減目標と取組内容を登録すると参加証をいただけ、目標を達成すると証明書と県ホームページと新聞に掲載されます

	目標排出量(t)	実績排出量(t)	結果	取組内容
2015年度		32		・印刷用紙の予備紙率を1%削減 ・分別徹底とリサイクルの推進 トイレ用ペーパー芯と割り箸をリサイクル化 梱包資材の再利用
2016年度	30	24	達成	
2017年度	23	28	未達成	
2018年度	27	23	達成	
2019年度	21	20	達成	
2020年度	19	取組中		

取組期間：年度単位(4月1日～翌年3月31日)

杉山メディアサポートアラカルト

割り箸リサイクルとは？

混ぜればごみ、分別すれば資源！！ 製紙会社が行う紙のリサイクル活動は、使い終わった紙を資源として回収し、紙の原料として再利用しています。これは環境保全の重要性和資源を大切にすること、私たちが日々暮らしている生活の環境を「住民・企業・行政・学校」が一体となって良くしていこうという活動精神をもとに、使用済み割り箸を回収し、紙の原料として再利用したいというものです。当社は印刷業のため紙を原材料として使用していますので、この取り組みに少しでも協力することができればという思いで、社員の使用済み割り箸をまとめて製紙会社へ送っています。割り箸リサイクルは2017年から始め、現在まで21kgを送付しています。

5 その他周辺環境対策
(1) 景観・緑化対策

当社は浜松市の特性にふさわしい良好な景観を守り、はぐくみ、つくり、及び次代に継承し、魅力的な地域づくりに寄与することを目的として制定された「浜松市都市景観条例」と「浜松市緑の保全及び育成条例」に基づき、敷地内の樹木の植栽と緑化をして緑豊かで美しい景観を維持しています。



緑化率30.6%を建設当初から維持



敷地内の花壇は四季折々の花を植えています



隣接する神社や工場周辺ごみ拾いと歩道の草を定期的に取り替えています

(2) 音・光害対策

浜松市には「浜松市音・かおり・光環境創造条例」という全国でも珍しい条例があります。この条例は、人に潤いや安らぎを与えてくれる音・かおり・光資源を保全し、市民と事業者の日常的な生活や事業活動に伴って発生する人に不快感や嫌悪感を与える騒音、悪臭及び光害(感覚公害)の防止に、市民、事業者及び市が協働して取り組み、市民が求める快適な生活環境の創造に資することを目的としています。当社はこの条例に基づき、感覚公害に対する取り組みを実施しています。



搬入出口の段差を補修することで、フォークリフト運転時の騒音対策をしました



印刷現場作業終了時には必ず換気扇のスイッチを切り、退社しています



駐車場の外灯はタイマー制御をして、近隣住民の生活の妨げにならないよう注意しています

6 地球温暖化防止対策

(1) 二酸化炭素排出量削減

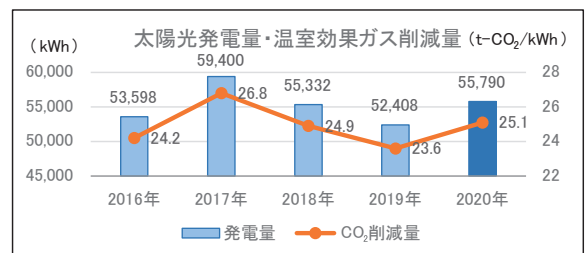
太陽光発電装置4.59kWを2014年1月、新都田工場の屋上に設置しました。発電量は全量売電ではありませんが、太陽光発電はエネルギーを生成する際、二酸化炭素や窒素化合物などの有害物質を発生させないため地球環境保護に貢献している活動となります。

2020年実績/年間発電量: 55,408kWh 年間温室効果ガス削減量: 25.1t-CO₂

スギの木一本当たりの年間二酸化炭素吸収量14kg程度※に換算すると約1,793本相当になります。 ※出典: 林野庁



新都田工場 屋根を利用した太陽光発電パネル
発電設備出力: 49.5kW 面積: 1,000㎡



太陽光発電システム単位発電電力あたりのCO₂排出量 : 533.5g-CO₂/kWh

14. 従来から実施している対策・活動

(2) オゾン層破壊防止

使用時における経年劣化などによる設備不良等の漏えいが問題となり、これを規制するためにできたのがフロン排出抑制法です。地球温暖化の原因物質とされるフロンガスの排出抑制のため、冷却装置である空調機及びチラー設備の適正な管理が必要となります。法規制に基づき、該当機器及び定格出力により3ヶ月ごと1回以上の簡易点検と、3年ごと1回以上の定期点検を実施する義務があります。

点検該当台数	簡易点検	定期点検
丸塚営業本部	21台	4台
	3・6・9・12月実施	2018年5月18日実施 次回2021年5月予定
新都田工場	37台	9台
	3・6・9・12月実施	2018年2月27日実施 次回2021年2月予定

静岡・東京の両営業所は賃貸物件のため管理者はビルオーナーになります



簡易点検実施



有資格者による定期点検実施

(3) 省エネ対策

当社はこれまでエネルギーの使用を抑え、温室効果ガスの中でも最も排出量が多いとされる二酸化炭素排出量を抑制することが事業活動を継続していく上で重要であり、電気・ガス・ガソリン・軽油使用量を抑えるためさまざまな取り組みを実施してきました。そのうち、使用機器等の改修により二酸化炭素排出量を削減したものがあります。

ア. 照明のLED化

改修前	改修後	年
36W2灯式18台	17W2灯式18台 改修成果 1.66t-CO ₂ /kWh削減	2011年
40W2灯式28台	22W2灯式23台、38.9W1灯式5台 改修成果 1.38t-CO ₂ /kWh削減	2014年
36W2灯式4台	25W2灯式4台 改修成果 0.04t-CO ₂ /kWh削減	2017年



イ. 高効率エアコン更新

改修前	改修後	年
経年劣化ガス空調機1台	高効率電気エアコン2台 改修成果 18.77t-CO ₂ /kWh削減	2011年
経年劣化ガス空調機1台	高効率電気エアコン1台 改修成果 10.01t-CO ₂ /kWh削減	2014年
経年劣化ガスエアコン1台	高効率ガスエアコン1台 改修成果 0.02t-CO ₂ /kWh削減	2018年
経年劣化電気エアコン2台	高効率電気エアコン2台 改修成果 20.38t-CO ₂ /kWh削減	2018年
電気エアコン1台	高効率電気エアコン1台 改修成果 2.93t-CO ₂ /kWh削減	2018年



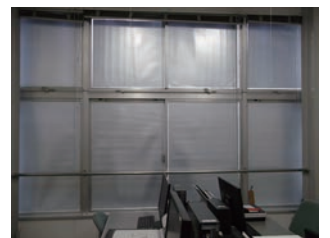
ウ. 日常的な取組



照明スイッチ図を表示して、無駄なエリアの照明はつけないようにしています



温水・暖房便座の温め時間をタイマー式コンセントにして節電しています



日当たりが良い事務所では、窓に遮光・遮熱シートを貼って室温上昇を抑え、エアコン設定温度を守っています



「ふじのくにエコチャレンジ TRY」

この取り組みは、静岡県主催の地球温暖化防止のために、2011年からスタートした、“静岡県みんなのチカラ”で行動をしていこうという参加型の県民運動です。2015年度にスタートした【TRY(トライ)】は、地球を守るため・STOP温暖化!のため・子ども達の未来のため…もっと身近に、節電のため・省エネのための“約束”を提出し、年1回その取り組みと成果を報告するもので、これら日常的な取り組みが評価され、2015年と2017年に表彰されました。

7 省資源

(1) 材料使用量における省資源

モノづくりの基本である「つくる責任とつかう責任」において、資源の使用量は必要最低限にすることが環境への負荷を小さくし、使えるものは繰り返し使い、限りある資源を大切に使うことが使命であると認識しています。印刷用紙には、製品となる用紙の他、刷り出し損紙と印刷予備紙、加工予備紙が必要となります。この刷り出し損紙を削減するため、一度使用した用紙を繰り返し使用しています。当社で使用するインキは植物油インキを99%以上使用しています。植物油とは、再生産可能な大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物由来の油、及びそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油が対象です。一部印刷機には自動供給システムを設置して、必要な量だけのインキを自動的に補給し、最後までインキを無駄なく使用しています。



印刷の刷り出しに使用する用紙は、繰り返し使います



植物油インキマークは、植物油を含有した印刷インキ中の植物油含有量基準を満たした植物油インキに付与できる環境マーク



インキ供給ポンプによって配管を通して印刷機械に自動供給する装置

(2) 作業工程における省資源

原稿の修正や製版工程における効率化を図るため、お客様にはデータ入稿をお願いしています。このデータ入稿率は2010年頃から100%を維持しています。本機校正などのアナログ校正の代わりに、印刷物をターゲットにカラーマッチングさせたインクジェットプリンターでのデジタル簡易校正 (DDCP) を推進しています。これにより本機校正で使用する印刷版と現像に使用する液や印刷用紙の使用量を抑えることができるため、低コストと短時間での色校正が可能です。自動品質検査装置で印刷時の不良印刷を素早く検出し、無駄な印刷と不良による刷り直しをなくすことで印刷用紙やインキの使用量とエネルギー消費を抑えることができます。



デジタル簡易校正用インクジェットプリンターを4台完備

DDCPとは「ダイレクト・デジタル・カラー・プルーフイング」の略。校正紙を校正専用機で刷らずに専用紙に直接出力するカラー出カシステム、または、それを使った校正方法の呼称です。

使用済みインクカートリッジはメーカーの回収・再資源化サービスを利用しています。



自動品質検査装置で不良印刷を見逃しません

8 再使用

事業活動に伴い発生する廃棄物排出量を削減するため、再使用やリサイクルを推進する他、資材を選択する段階から再使用可能なもの (古紙リサイクル適性) や処理処分の容易性を図る必要があります。印刷部門で使用するウエスはレンタル品と再生品を使っている他、物流部門の納品・出荷時の梱包資材は、社内が発生した本来ならば廃棄物となる物を再利用しています。



レンタルウエスや古着や古布を再使用したウエスを使用



印刷版の梱包ダンボールと合い紙は出荷時の梱包資材に再利用



杉山メディアサポートアラカルト

古紙リサイクル適性とは？

出版物などに使用される印刷・情報用紙をもう一度、印刷・情報用紙向けの製紙原料として回収・利用できるように、印刷物の製造の段階からリサイクル可能な資材を選択することが重要であり、古紙は日本全体の循環資源の1割を占める重要な資源です。これは、ごみの減量化だけでなく、森林資源の保全、地球環境の保全に貢献する取り組みです。

14. 従来から実施している対策・活動

9 その他広域的環境対策 (1) 社会貢献活動

当社は社会の一員として、すべてのステークホルダーと共に社会的責任の在り方を考え、環境保全や自然保護といった環境活動に加え、地域や社会全体がよりよい環境になるよう、環境活動を会社内の活動に留めず、地域活動など広域的に考え、社会貢献活動を積極的に行う義務があると考えて行動しています。会社周辺でのごみ拾いや歩道の草取りを2006年から活動を開始し、現在は地域清掃へも積極的に参加して活動範囲を広めています。また、地元からの交通事故発生撲滅のため、交通事故撲滅街頭活動を毎月一回実施している他、AEDの設置とエコキャップ運動、地域祭典への協賛や、メディアユニバーサルデザイン(MUD)普及活動を実施しています。

ア. 清掃活動



会社周辺歩道の草取り実施



静岡県「小さな親切」運動主催の清掃活動に参加



国土交通省浜松河川国道事務所主催の「天竜川クリーン作戦」に参加

イ. 地域貢献活動



エコキャップ運動実績
累計排出個数/103,627個
ポリオワクチン支援/120.5人分
エコキャップ焼却時
二酸化炭素発生抑制量/759.2kg-CO₂

エコキャップ運動
2013年活動開始



交通事故撲滅街頭活動
2020年からは毎月一回実施



警察、安全協議会、自治会の皆様と協力しての街頭活動

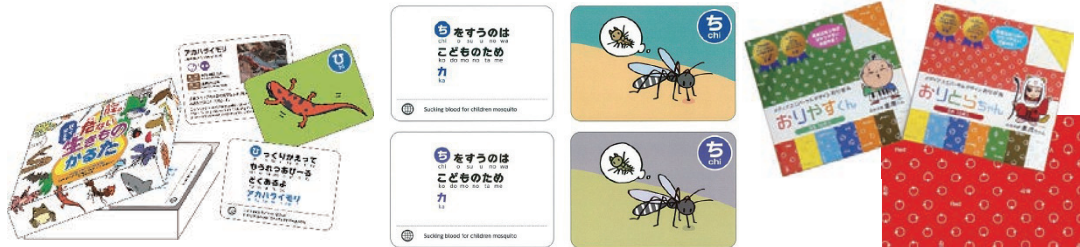
ウ. メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)普及活動

当社は誰もが使いやすい、見やすいメディア情報を提供することで、より良い社会環境づくりを目指す「メディア・ユニバーサル・デザイン(MUD)」に取り組んでいます。ものの見え方は、年齢や色覚障がい、国や生活様式により様々です。より多くの方により正確に情報を伝えるためには、この点に配慮して発信しなければなりません。社員が積極的にMUDの知識や技術を学び、企画やデザインに取り入れています。さらにMUDを広く知ってもらうための活動も展開しています。

メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)とは、障害の有無や年齢、性別、人種などにかかわらず、たくさんの人々が利用しやすいように製品やサービス、環境をデザインする考えに基づき、文字や色の使い方などに配慮・工夫することで、色弱者や弱視者はもとより、一般の人、高齢者、子供、外国人など、より多くの人が見やすく、分かりやすい情報提供を行うことです。

メディア・ユニバーサルデザインコンペティションへの挑戦

「メディア・ユニバーサルデザインコンペティション」は、高齢者・障がいのある方・子ども・外国人などに対し、見やすさや伝わりやすさに配慮したデザインアイデアを競うもので、当社は毎年このコンペティションに挑戦しています。これまで数多くの受賞作品がありますが、2020年第13回開催の応募作品のうち、「取って覚える日本の危ない生きものかるた」が一般の部で佳作を受賞しました。



受賞作品: 日本にはどんな危険性のある生きものがいて、どこで遭遇する可能性があるか、といった情報をMUDを通して親子で遊びながら学べるかるた

商品化されたおりがみ
「おりやすくん」と「おりとらちゃん」

小中学生にユニバーサルデザインを伝える「企業のUD出前講座」

メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)を広く伝えるための活動として、浜松市が主催する「企業のUD出前講座」の講師を務めています。市内の小中学校へ外出向き、MUDとはどういうものか、何故MUDが必要なのか、色覚障がいなどでものが見えづらいとはどういう状態なのか、どうすれば見えやすくわかりやすくなるのか、といったMUDの基礎知識について、信号機や教科書、ゲームを例にしたり、アプリを使って色覚の違いを体感してもらうなど、身近なものとして感じられるように伝えています。



浜松市立佐鳴台小学校4年生40名より感想文をいただきました

(2) 敷地内緑化と生物多様性保全

新都田工場では建設当初から30.6%の緑地率を維持しています。その中には静岡県の花に選定されている“つつじ”を低木の47%、静岡県の木に制定されている“もくせい”を6本植えています。ヤマモモなどの高木には野鳥が多く飛んで来て実を食べています。工場裏手の高木は、夏場蝉が羽化する場所となっているほか、カブト虫やクワガタが飛んできたりします。このように敷地内の緑化を維持することで、鳥や昆虫などの生物を守る活動に繋がるため、除草剤などの化学物質を使わず社員による草取りの実施や業者による樹木の整備を実施して、生物との共生を続けていきます。また、近年は新東名スマートインターの開通に伴う周辺道路の拡張や企業の進出により、工場周辺の“ミカン”(浜松市の花に指定)畑が減少しているため、工場敷地内にミカンを植樹しました。



寿太郎みかんを植えました



蝉の抜け殻が鈴生り状態



クワガタやカブト虫も工場内に侵入してきます

10 社員の安全対策

(1) 働き方改革

2019年4月より働き方改革関連法案の一部が施行され、現在「働き方改革」は、当社のような中小企業にとっても重要な経営課題の一つとなっています。厚生労働省の定義では「働き方改革」とは、働く人々が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革としています。当社も「働き方改革」に則り、社員の満足度が上がるよう職場環境づくりに取り組んでいます。

働きやすい職場づくり

これまで残業時間が多かった社員の業務軽減のため、部署内の業務の補佐や部署の垣根を超えた業務支援を実施して残業時間の削減を実施しています。これにより、業務の平準化や社員のスキルアップ、仕事のやり方を他目線から取り入れた業務の簡素化などに繋がっています。

年次有給休暇時間単位取得

これまでの取得は半日単位でしたが、1時間単位での時間取得が可能となったことにより、有休取得が効率的に使用できるようになりました。



仕事と育児の両立支援

産前産後休業・育児休業を取得しやすいよう、各部署で該当社員が長期間休んでも、仕事に支障をきたすことがない体制をつくっています。育児休業は男性・女性どちらでも取得可能であり、現在までの取得実績は10名になります。その他子育て支援として、時差出勤や時短勤務(子供が3歳になるまで)の制度を設けています。

(2) 社員の心身の健康

化学物質や機械等を使用する社員の労働安全を確保するために、様々な規程や手順書を備え、有害物質の情報発信や作業前点検を実施しています。定期健診やストレスチェックの実施、対象となる社員には特定健診を受診させ、再検査が必要な社員には受診を推進しています。また、月1回発行している「総務通信」では健康管理情報を発信し、全社員が健康で働ける職場を目指しています。

取組内容:

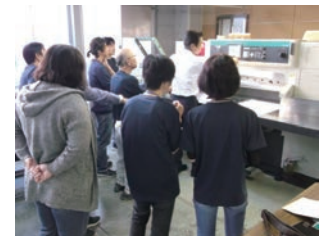
- ・化学物質リスクアセスメント
- ・作業機械と設備点検
- ・作業環境測定(有機溶剤、作業騒音)
- ・労働安全教育訓練
- ・VOC警報器活用による健康障害予防
- ・安全パトロール
- ・受動喫煙対策
- ・パワハラ・セクハラ相談窓口設置

直近の「総務通信」は長期化する
自粛生活からの心のケアと、花粉症・花粉症による皮膚炎情報でした



教育訓練実施

断裁機は(プレス機械又はシャーの一種)に指定されています。入替を機に、メーカーによる作業前点検・作業手順・取扱注意事項の教育訓練を実施しました



作業環境測定(有機溶剤・騒音)を実施しています



騒音測定は6ヶ月ごと自主測定を実施、局所排気装置は年1回自主点検を実施しています

15. 今期に実施した対策及び活動報告

2020年は新型コロナウイルスの影響により世界中が未曾有の年となりました。いろいろな制限が設けられ、自粛や我慢の年となり思うような活動はできませんでしたが、このような時でこそ皆様のお役に立ちたいと思い、行動に移しました。

1 地域貢献活動

(1) マスクケースとマスクの寄付

マスクケースの寄付のきっかけは、新型コロナウイルス感染防止のため急激に需要が高まったマスクの使用に伴って、印刷会社として何が出来るかを考えた時、当社の主要材料である紙と、抗菌作用があるにおわないインキを使用してマスクケースを製作することでした。緊急事態宣言下で飲食店が休業や時短営業の要請を受け、通常営業が再開された後も厳しい状況であることを聞き、地元の飲食店の繁栄を願い、また、人との関わりが多い福祉事業に携わる方々にも利用していただくことで、お互いの心配りに役立てていただきたいとの思いで、マスクケースを寄付することにしました。政府配布の布マスクも社員からの厚意で寄付をしました。



浜松市役所にマスクケース6,000枚と、浜松市社会福祉協議会浜北支部にマスクケース232枚と布マスク32枚を寄付させていただきました。



通常使用するインキは環境に配慮した植物油インキを使用しますが、インキ独特な臭いがあります。そこで今回製作したマスクケースには、抗菌作用がある「におわないインキ」を使用しました。「におわないインキ」は、特殊吸着材の作用でインキの臭いを抑え、更にインキの中に銀イオンが配合されているため、印刷物に抗菌性能を持たせることができるものを使用しました。

(2) はままつAEDステーション登録

「はままつAEDステーション」への登録は、全国AEDマップへの登録はしていましたが、2019年11月よりこの登録制度が施行されたことを知り、当社社員だけでなく、近隣で発生した万が一の事態への開放使用を想定して、AEDが身近にあることを知っていただき、誰でも使うことができ、救命に役立てていただきたいとの思いで登録をしました。



浜松AEDステーションの登録にあたり、改めて実施した内容

- ・全国AEDマップの登録情報更新
- ・管理体制の整備
- ・点検簿作成
- ・AED設置場所の表示

これらの取り組みに対して

浜松市における令和2年度の「企業のCSR活動表彰」において、その取り組みが先駆的、斬新な活動を行ったと評価され、特別賞を受賞することができ、鈴木康友市長より表彰状を授与されました。

浜松市の「企業のCSR活動表彰」制度は、浜松市の市民、市民活動団体、事業者及び市が社会を支えることに関心を持ち、行動を起こすという、多様な主体によるまちづくりの実現と、企業による社会貢献活動を広げていくことを目的に、2016年に創設されたCSR活動(企業の社会貢献活動)を積極的に取り組む企業を表彰するものです。



2021年3月3日 鈴木康友市長と受賞企業の皆様



2019年の入賞に続き
2020年は特別賞を受賞しました



2 職場環境整備

『良い製品は綺麗な職場から』の教訓を基に、職場内の整理・整頓・清掃活動を実施しました。新型コロナウイルスで仕事量に影響し、手が空いたことをチャンスと捉え、毎月末に実施している「5Sパトロール」で指摘事項となっていた箇所も丁寧に実施することができ、社員の気持ちも晴れやかになりました。

【Before】



消火栓横を整理

【After】



整理

- 要るものと要らないものを分別する
- unnecessary items are discarded

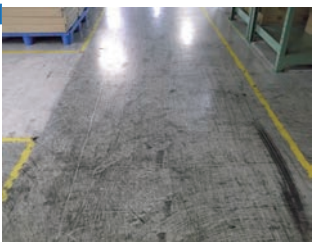
整頓

- 置き場所を決めて表示する
- Pallet stacking prohibition
- clear management of inventory items visible to all

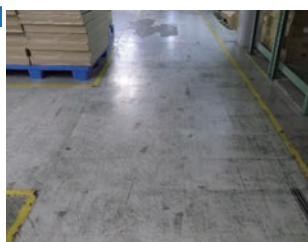
清掃

- きれいに掃除する
- clean up around equipment
- clean workplace for good product creation

【Before】

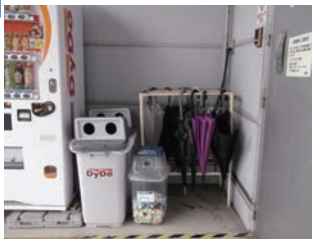


【After】



床が見えるほど白くなりました

【Before】



放置傘が目立ったため、傘立てを撤去しました

【After】



部署ごとに傘置き場を表示したところ、放置傘はなくなりました

【Before】



【After】



シンクとシンク下もピカピカ

【Before】



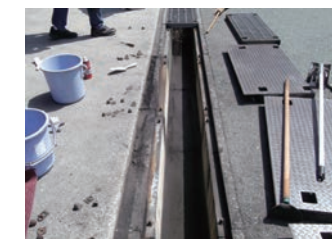
【After】



【Before】



【After】



雨水路グレーチングを外して土や落ち葉を取り除きました

杉山メディアサポートアラカルト

5Sパトロールとは？

毎月末に実施している「5Sパトロール」は、各部署の整理・整頓・清掃や環境保全の手順に沿って決められているルールが守られているかを確認しています。チェック項目は、大気汚染・騒音・水質汚濁・土壌汚染の防止等や敷地境界線上の騒音・臭気等、労働安全対策などとなっています。

15. 今期に実施した対策及び活動報告

3 SDGsへの取り組み

事業活動とSDGsへの取り組みを紐付けた結果を社員に意識付けるため、社内の掲示物にSDGsロゴマークを表示しました。日々実施している当たり前の行動を、SDGsロゴマークを通して更なる意識向上を目指します。



ポスター掲示
環境経営方針と共に掲示しています



節電
作業時間外は消灯



節電(エアコン)
冷房の温度設定は27℃、暖房の設定温度は22℃にしましょう



節水(手洗い場)
出っぱなしはやめましょう
使用後は蛇口をしっかりと閉めましょう



節水(トイレ)
擬音装置を利用しましょう
大・小レバーを使い分けましょう



廃棄物(分別)
廃棄物の分別にご協力をお願いします
3Rを実施しましょう



化学物質
適正管理
作業前に絵表示とラベル確認
保護具を使用しましょう



窓開放厳禁
騒音・大気汚染防止
温度・湿度管理(品質維持)



必ずフタをする(使用済みウエス)
VOC(揮発性有機化合物)発生抑制



労働安全衛生
管理区分表示
耳栓は正しく着用しましょう



エコドライブ10
構内アイドリングストップ

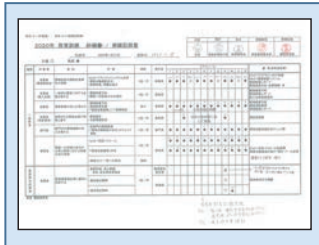


エコドライブ10
環境にやさしいエコドライブ

16. 環境教育の実施

環境経営システムを効果的に運用するためには、全社員がエコアクション21の取り組みを適切に理解し、実践することが必要です。我が社は、全社員を対象とした教育・訓練の実施により、全員参加型の取り組みを確実なものとするとともに、社員の環境に関する知識向上や取り組みのモチベーションを高めることを目的に、年度当初に実施計画を作成し、それに基づく環境教育を実施しています。

2020年度においては、年度初めの方針発表会や環境掲示板への掲載と環境活動通信の発行等を通して、全社員に対して環境経営目標や環境経営計画等について、周知徹底を図りました。環境委員会を毎月第3木曜日に開催し、エコアクション21事務局より「環境経営システム」運営における問題点や環境負荷物質使用量、環境関連法改正、環境問題などの報告と工場内での対策等を協議しました。また、社員研修、労働者教育訓練等も実施しました。



教育訓練 計画書・実施記録



方針発表会



フォークリフト運転時の騒音環境教育訓練実施

17. 内部・外部コミュニケーションの実施

エコアクション21の取り組みを段階的に発展させるためには、組織内外の関係者と情報を共有し、双方向のコミュニケーションを図ることが必要です。内部とのコミュニケーションでは、全社員に対して、エコアクション21の取組内容など、環境経営を推進するに当たって重要な情報を伝達し、理解を深めます。外部とのコミュニケーションでは、環境経営レポートに基づく情報公開により、エコアクション21を適切に運用していることを示し、社外との関係者との対話を促進します。また、環境に関する苦情や要望などには適切に対応します。

我が社は、組織内外の関係者とのコミュニケーションに関する取り組みを行うことにより、関係者との相互理解や協働が一層促進することを目的に、内部・外部コミュニケーションを積極的に推進しています。

【内部コミュニケーション】



毎月1回ではありますが、環境情報を「環境だより」として発行しています。環境取組強化月間や環境負荷物質削減、省エネへのお願い、目標値に対する実績状況報告、環境関連法改正、クリーン作戦参加報告等、さまざまな情報を発信しています。



工場内における環境負荷物質使用量低減のため、自部署改善宣言及び改善提案制度を取り入れています。自部署での無駄を見直すと同時に、自部署では気づかない点を他部署目線で指摘し、「長年継続しているから」「このように教えられたから」と決めつけている行動を改善することで、削減効果が得られると期待しています。



【外部コミュニケーション】



「環境経営レポート」はエコアクション21中央事務局及び当社のホームページに掲載しています。当社を訪問された方々にもお気軽にご覧いただけるよう、常に玄関フロアに掲示しています。また、ご覧いただきましたレポートの感想も受け付けるアンケート用紙も添付しています。

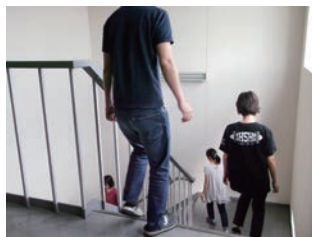
2020年 外部コミュニケーション記録
環境上の苦情、要望、提案、行政とのやりとり等はありませんでした。

18. 緊急事態対応訓練

エコアクション21では、事故や天災などを原因とする環境への重大な影響を最小限に留めるため、これらを想定し、その対応策を定め、その有効性を確認することが必要とされています。我が社でも緊急事態を想定しての定期的な訓練を実施しています。

【避難・消火訓練】

火災や地震の発生を想定し、従業員がいつでも落ち着いて行動ができるよう、年1回を目安に避難訓練を実施しています。繰り返し訓練を実施していることで、さまざまな問題も浮上し、その対処も実施しました。例えば、印刷現場では機械音により館内放送が聞こえないため、拡声器やハンドベルを使用するようになりました。また、当社の原材料は印刷用紙で可燃性が非常に高く、火災延焼を最小限に止めるため、従業員による初期消火訓練を実施しています。



避難指示館内放送後、避難開始



避難完了

【廃油・廃液流出訓練】

廃油（廃インキ）と廃液流出訓練を年1回実施して、手順書の有効性を確認しています。事故により廃油や廃液を流出させた場合の近隣への被害や環境への影響は多大であるため、日頃の注意と訓練が重要です。



5年ごとに浜松市消防隊員による消火指導を受けています



廃油流出訓練にも真剣に取り組めます



印刷現場では館内放送が聞き取りにくいいため、ハンドベルを常備しています



【地震対策】



棚に並べられたインキ1kg缶の落下防止対策として、100円ショップの金網ネットを利用しました。金網ネットは引っ掛け金具を使用しているため、開閉は自由に行えます。

【災害時の備え】

大規模地震や災害に備え、飲料水や簡易トイレ、懐中電灯を常備し、いつ起こるか予測できない東海大地震や、近年の地球温暖化が原因とされる台風被害に備えています。

19. 内部監査の実施

エコアクション21では、規模が比較的大きな組織（概ね100人以上）では、年に1回以上内部監査の実施が必要です。我が社においても、年1回、下記の内容にて内部監査を実施しています。

我が社においては、

- ・環境経営システムが本ガイドラインで規定する要求事項及び組織が定めたルールに適合しているか
- ・環境経営目標が達成されているか（あるいは達成できるか）
- ・環境経営計画が適切に実施され、環境への取組及び環境経営システムが継続的に改善されているか

についてを確認すべく、内部監査手順書に従い、内部監査を実施しています。そして、その結果を代表者に報告します。また、内部監査で問題が発見された場合は、是正処置及び予防処置を行い、記録しています。

2020年度の内部監査の結果は、軽微な問題点はあったものの、是正及び予防処置となる重大な問題点はなく、指摘事項もありませんでした。



内部環境監査手順書



内部環境監査実施記録



内部監査員から一言



2020年はコロナ禍で、営業活動や清掃活動が思うようにできていないようでしたが、環境活動目標と計画について実施状況を確認しましたが、総合的には重大な問題はありませんでした。

20. 次年度(2021年度)の環境経営目標及び環境経営計画

2020年の実績を評価した結果、エコアクション21の取り組みをさらに進めるために、次年度の環境経営目標及び環境経営計画は、次の表の通り定めました。引き続き全社員一丸となって定めた環境経営計画に取り組み、環境経営目標の達成に向けて努力していきたいと思っています。なお、コロナ禍による生産量減少に伴う影響が大きいため、生産量が標準的な2019年実績を基準年として、削減率及び増加率を見直しました。

<環境負荷項目>

◆全組織

環境への影響	環境経営目標項目	※指標	単位	2020年度	2019年度実績	2021年度目標			
				実績	(基準年)	削減率	目標値	環境経営計画	
生活環境への影響 地球環境への影響	大気汚染 地球温暖化	二酸化炭素排出量削減	総量	kg-CO2	1,003,103.17	1,294,494.55	10%削減	1,165,045.10	・負荷物質量が最も多い電力の使用量を抑える ・生産効率を意識した作業の実施
		電力使用量削減	総量	kWh	1,534,197	1,929,482	10%削減	1,736,534	・オフラインLED照明化 ・空調温度の適正化(冷房27℃、暖房22℃) ・デマンド監視装置によるピークカット
			原単位	kWh/2工場千枚通し数	6.999	5.896	0.1%削減	5.890	・空調機、エアコンのフィルター清掃 ・未使用フロア消灯、昼休み消灯
		液化石油ガス(LPG)使用量削減	総量	kg	14,922.63	20,735.19	10%削減	18,661.67	・新都田工場高効率ガスヒートポンプ(GHP)への更新 ・空調機のフィルター清掃 ・空調温度の適正化(冷房27℃、暖房22℃)
			原単位	kg/新都田工場千枚通し数	0.1033	0.3054	5%削減	0.2901	
		都市ガス使用量削減	総量	Nm ³	90,790.15	128,888.91	10%削減	116,000.01	・印刷乾燥機の点検・整備 ・作業予定の立て方と社内ルールの見直し
			原単位	Nm ³ /オフライン工場千枚通し数	1.215	1.043	0.1%削減	1.042	
		ガソリン使用量削減	総量	L	18,121.95	20,233.72	8%削減	18,615.02	・エコドライブ10の実践 ・効率の良い営業・納品ルートの設定(運転日報の活用)
			原単位	走行距離km/L	15.506	15.597	1%削減	15.441	・燃費向上を目的とする車両の整備(タイヤの空気圧、オイル交換) ・走行距離と燃料使用量のチェック ・適正な積載量 ・Web会議の活用 ・エコカーへの転換
		軽油使用量削減	総量	L	13,532.17	17,083.10	8%削減	15,716.45	
原単位	走行距離km/L		9.052	8.779	1%削減	8.691			
生活環境への影響 地球環境への影響	水質汚濁 資源の枯渇	水使用量削減	総量	m ³	1,556	2,008	8%削減	1,847.4	・湿し水循環ろ過装置による水交換回数の削減 ・手洗い時の節水啓発表示 ・女子トイレの擬音装置利用の徹底 ・節水こまの取付、水道蛇口パッキンの交換 ・雨水を利用したの散水
			原単位	m ³ /従業員数	0.912	1.061	5%削減	1.001	
生活環境への影響 地球環境への影響	廃棄物の排出 資源の枯渇	コピー/出力紙使用量削減	総量	枚	797,791	1,047,102	8%削減	963,334	・ミス出力防止のため出力前にプレビュー確認 ・コピー/出力の縮小・両面・集約機能活用 ・保管書類のPDF化
		産業廃棄物排出量削減	総量	kg	18,019.16	21,961.35	10%削減	19,765.22	・印刷予備紙は最低数量とする ・刷り出し損紙の再利用 ・ミスを無くし、刷り直しによる廃棄物の削減
			原単位	kg/2工場千枚通し数	0.0822	0.0671	0.2%削減	0.0670	・廃棄物の分別、3Rの実施 ・廃棄物の分別指導
		有価物排出量増加	総量	kg	659,411	970,794	0.3%増加	973,706	・廃棄物の分別項目と保管場所の表示 ・「静岡県産産3Rキャンペーン」への参加
		再資源化率向上	総量	%	97.3	97.8	0.1向上	97.9	・梱包資材の再利用 ・封筒の再利用(作業指示書袋・メール便袋)
生命体への影響	人の健康被害	化学物質使用量削減	総量	kg	16,027.62	20,832.01	4%削減	19,998.73	・安全データシート(SDS)の管理 ・化学物質リスクアセスメント実施 ・溶剤の化学物質把握
			原単位	kg/2工場印刷版数	0.278	0.249	0.5%削減	0.248	・洗浄剤の代替品検討(有規則第2種使用の制限、PRTR法第一種からの切替) ・グリーンプリンティング認定資材の選択
		化学物質総使用量に対するPRTR法第一種含有率の低減	総量	%	1.621	1.644	0.01低減	1.634	・溶剤の在庫数(有機溶剤倉庫内他)チェック、購入量把握と所属長への連絡
印刷通し数			総量	2工場千枚通し数	219,200	327,233			
			総量	新都田工場千枚通し数	144,457	203,602			
			総量	オフライン工場千枚通し数	74,743	123,631			
印刷版数			総量	2工場印刷版数	57,602	83,644			
走行距離数	ガソリン車	総量	走行距離km	281,001	315,590				
	ディーゼル車	総量	走行距離km	122,489	149,967				
全従業員数			総量	人	138	153			

<サステナビリティ>

◆全組織

環境への影響	環境経営目標項目	指標	単位	2020年度	2019年度実績	2021年度目標			
				実績	(基準年)	増加率	目標値	環境経営計画	
環境経営の推進	製品への環境配慮・サービス提供	環境配慮型製品製造量増加	総量	kg	11,459.65	11,055.04	4%増加	11,497.24	・FSC認証紙と森の町内会「間伐材に寄与する紙」を使用した製品提案と推進 ・製品提案と推進のための販促ツールを作成
		FSC認証製品受注件数増加	総量	件	24	31	2件増加	33	
	社会貢献活動	会社周辺清掃活動	総量	回	6	9		9	・会社周辺ごみ拾い ・歩道の草取り
		地域清掃活動	総量	回	2	3		3	・静岡県「小さな親切」運動 清掃活動 年2回参加 ・浜松河川国道事務所 クリーン作戦 年1回参加
		交通安全啓発活動	総量	回	12	2		12	・会社周辺交差点におけるのぼり旗による交通安全啓発活動 月1回実施
		エコキャップ回収運動	総量	個	3,290	10,084	1%増加	10,185	・リサイクル活動 ・ポリオワクチン支援 ・焼却による二酸化炭素排出量削減
		グラウンド・ワーク 活動への協力(割り箸リサイクル活動)	総量	kg	8.5	7.5	5%増加	7.9	・リサイクル活動 ・製紙会社「割り箸リサイクル活動」への協力
		トイレトーパー芯リサイクル活動	総量	kg	7.0	9.0	1%増加	9.1	・生活廃棄物の削減とリサイクル活動

21. 環境関連法規制等の遵守状況

【遵守状況評価結果】

我が社はものづくりにおける大気、騒音、振動などの環境への排出に気を配り、周辺地域に与える環境への影響を抑えています。2020年度の環境法令等の遵守を評価した結果、「環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表」に示した通り、問題がないことを確認しました。また、地域住民からの苦情や訴訟もありませんし、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。今後においても、法令遵守等のコンプライアンスの向上に努めて参ります。

【環境関連法規等一覧表及び遵守状況確認表】

※対象法規を一部省略

遵守評価:◎遵守できている ○一部遵守できていない ×遵守不十分・遵守できていない

法令・条例	条項	要求事項	該当施設・該当項目等	義務	遵守	届出日・測定日	評価判断基準・測定日等
静岡県環境基本条例	第6条	公害の防止、自然環境保全、廃棄物適正処理	事業者の責務	遵守	◎		
浜松市環境基本条例	第3条	公害の防止、環境負荷への低減	事業者の責務	遵守	◎		
静岡県生活環境保全条例	33条	環境マネジメントシステムを導入し、環境への負荷の低減	事業者の責務	遵守	◎		
騒音規制	第52条	特定施設規制基準	基準値:第4種区域	遵守	◎	2回/年 自主測定	基準/昼間(8時~18時):65dB 測定日/3月24日、9月30日 評価/基準適合
	第53条	特定施設の届出	空気圧縮機、印刷機械、冷凍機	届出	◎	2019年10月10日	変更なし
振動規制	第79条	特定施設規制基準	基準値:第2種区域の2	遵守	◎	2回/年 自主測定	基準/昼間(8時~20時):70dB 測定日/3月24日、9月30日 評価/基準適合
	第80条	特定施設の届出	圧縮機、印刷機械	届出	◎	2019年10月10日	変更なし
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 浜松市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	第3条	廃棄物の適正処理、廃棄物の減量	事業者の責務	遵守	◎		減量目標達成
	第12条	委託基準	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	遵守	◎		委託契約業者へ排出
		保管基準	表示、飛散・浸透防止	遵守	◎		問題なし
		処理基準	収集運搬・処分業者委託契約	遵守	◎		許可証期限切れなし
	第12条	実地確認	優良認定事業者は処理状況の確認	記録	◎		6月23日、10月8日、10月12日
	第12条	管理責任者の届出	産業廃棄物、特別管理産業廃棄物	届出	◎	2017年8月1日	変更なし
	第12条	管理票交付、保管	電子マニフェスト制度利用	記録	◎		4月20日マニフェスト状況一覧確認
第12条	管理票交付等状況報告書	電子マニフェスト制度利用	報告	◎	2019年4月27日	5月18日修正報告	
水質汚濁防止法	第5条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設(現像機)	届出	◎	2018年5月31日	変更なし
		有害物質使用特定施設	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	届出	◎	2018年5月31日	変更なし
	第12条	構造基準	定期目視点	記録	◎		5月26日異常なし
	第14条	排出規制措置、排出状況把握、汚濁防止措置		遵守	◎		「廃液漏洩確認記録簿」確認
下水道法	第12条	特定施設の届出	自動式フィルム現像液洗浄施設(現像機)	届出	◎	2018年6月22日	変更なし
		特定事業場排除制限	基準値:pH5を超え11未満	遵守	◎		「計量証明書」確認
	第12条	水質測定と記録	pH・温度 1回/日	記録	◎		「排水pH測定記録簿」確認
土壌汚染対策法	第4条	土地の形質の変更届出	3,000㎡以上の土地	届出	◎		変更なし
大気汚染防止法	第17条	VOC発生抑制	事業者の責務	遵守	◎		
悪臭防止法	第7条	規制基準 1・2・3号基準	対象:全ての工場、事業場 規制地域:浜松市内全域	遵守	◎		
フロン排出抑制法	第5条	使用するフロン類の適正管理	第一種特定製品:業務用空調機器、チラー等	遵守	◎		
	第16条	管理者判断基準	機器の適切な設置、適正使用環境の維持・確保	遵守	◎		
		機器の整備委託と記録保管	簡易点検 1回/3ヶ月 定期点検 1回/3年 対象:7.50kW以上50kW未満の機器	記録	◎		3月31日、6月29日、9月30日、12月25日 2018年2月27日異常なし
	第19条	算定漏えい量報告	1年度内1,000t-CO ₂ 以上	報告	◎		規定量以下
化学物質排出把握管理促進法 PRTR制度	第4条	第一種及び第二種指定化学物質の使用と管理	事業者の責務	遵守	◎		
	第5条	第一種指定化学物質取扱量の把握	年間1t以上	報告	◎		規定量以下

【違反、訴訟等の有無】

地域住民からの苦情や訴訟はありませんでした。
また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

より良い環境と社会を次の世代のために・・・

今、こうして活動していけることに感謝し、地域の環境を守り、次の世代に受け継いでいくことが私たちの使命であると考えます。



22. 代表者による全体評価と見直し・指示

昨年度より、本業の一環として社会課題解決に取り組む必要があると考え、SDGsを取り入れ一年が経過しました。持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットを、環境経営と紐付けしたところ、15のゴールが見え、低炭素社会や省資源、環境汚染防止、循環型社会の形成といった当社の環境経営目標とSDGsを融合させ、目標達成に向けた取り組みとなりました。今年度は今までに経験した事がない程、新型コロナウイルスの感染拡大が日本のみならず世界経済や私どもの日常生活に大きな影響を及ぼし、当社でもこの影響を受けました。このような時でこそ、当社の経営方針である「基本に忠実、必ず実行」を基に、全社員の意識改革による目標達成を目指し、環境経営を繰り返し続けていくことが重要だと考えています。今年度は環境負荷項目においてはほぼ目標を達成できていますが、サステナビリティ項目はやはりコロナ禍による自粛が影響しているようですので、来年度は情勢の回復を期待しつつ継続実施をしていきます。本年度は「環境コミュニケーション大賞 優良賞」の優良賞や「浜松市CSR活動表彰制度」特別賞を受賞することができました。企業は地域の皆様と共に歩み、愛されることが事業継続に繋がるため、周辺環境保全も継続的に実施していく必要があります。

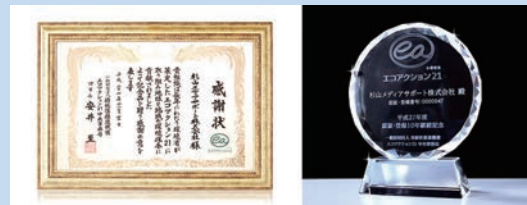
代表取締役 大高 明

取組事項	変更・指示	変更・指示内容 / アドバイス
環境経営方針	■変更なし □変更あり	—
環境経営目標	□変更なし ■変更あり	基準年をスライド方式ではなく、生産量が安定している2019年度実績を採用してください
環境管理体制	■変更なし □変更あり	—
教育・訓練の実施	■変更なし □変更あり	—
緊急事態への準備	■変更なし □変更あり	—
環境関連法規等	■変更なし □変更あり	—
地域活動・社会貢献	■変更なし □変更あり	地域活動は状況に合わせて、感染対策をしっかりとって参加してください

継続は力なり

当社はエコアクション21（環境活動評価プログラム）2004年版以前より取り組みを開始し、2004年11月全国で47番目に認証取得しました。その後エコアクション21と環境への取り組みを評価していただき、2015年「認証・登録10年継続記念」表彰を受けることができました。

この表彰を受け、2017年には静岡県環境部様より、エコアクション21への取り組みと数々の環境活動が認められ、「省エネセミナー」においてエコアクション21取り組み事例発表をさせていただきました。



事例発表は、エコアクション21の取得検討中や近年取得した企業の方々を対象として、当社の取得までの経緯と、取得するまでの苦労、これまでに実施した取組内容をお話させていただきました。

【EA21事務局編集後記】

EA21事務局を担当させていただき今年度で5年が経ちましたが、これまでで最も思うように活動が出来なかった年はありませんでした。誰しもがコロナウイルスがこのような事態を引き起こすとは予想がつかなかったと思います。密を避け、集団での活動自粛のため清掃活動を中止したり、環境委員会を紙面で実施したりもしました。しかし、7回目のチャレンジで初めて「環境コミュニケーション大賞 優良賞」を受賞することができたという明るい話題もありました。長いトンネルの先には明るい未来が待っていることを信じ、来年度は様々な活動が再開できることを願っています。EA21事務局はこれからも全社員の先頭に立ち、環境マネジメントシステムやSDGsへの取り組みを推進していくことを誓います。



23. 取組の成果(受賞)

印刷業界は、近年、デジタル技術の進展により、印刷物の需要が減少してきており、情報伝達という単一の価値だけではなく、新たな価値を創出し、提供していくことが求められています。その様な背景より、我が社は会社の意気及び社員の意欲向上にも繋がり、同業他社との差別化を図るため、各種賞にチャレンジして参りました。ここでは、その結果をご紹介します。

◆浜松市企業のCSR活動表彰

2020年 第4回令和元年度入賞
2021年 第5回令和2年度「特別賞」受賞

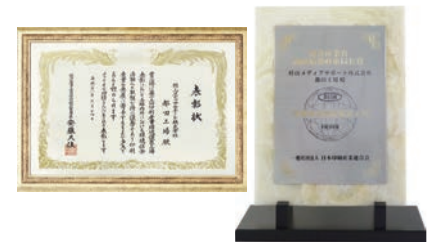
浜松市の「企業のS浜松市の「企業のCSR活動表彰」とは、浜松市の市民、市民活動団体事業者及び市が社会を支えることに関心を持ち、行動を起こすという、多様な主体によるまちづくりの実現と、企業による社会貢献活動を広げていくことを目的に、2016年に創設されたCSR活動(企業の社会貢献活動)を積極的に取り組む企業を表彰する制度



◆印刷産業環境優良工場表彰

2011年 第10回「日本印刷産業連合会奨励賞」受賞
2014年 第13回「日本印刷産業連合会特別賞」受賞
2015年 第14回「日本印刷産業連合会会長賞」受賞
2016年 第15回「経済産業省商務情報政策局長賞」受賞

一般社団法人日本印刷産業連合会が、印刷産業界における各企業の環境問題に対する取り組みを促進するとともに、印刷工場環境改善及び印刷企業に対する社会の一層の支持・理解を獲得することを目的に、2002年度から始まった表彰制度



◆ふじのくにエコチャレンジ表彰

2012年「CSR・エコオフィス部門優秀賞」受賞
2017年「TRY・事業所部門審査員特別賞」受賞

2011年3月に策定された「ふじのくに地球温暖化対策実行計画」における温室効果ガスの削減目標達成のための具体的な施策のひとつとして2011年度からスタートした温暖化防止のための県民運動(2017年度終了)

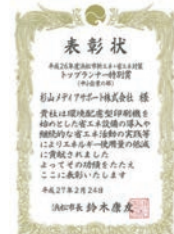


◆浜松市新エネ・省エネ対策トップランナー

2011年 エコ事業所部門「AA」認定
2012年 エコ事業所部門「AA」認定
2013年 エコ事業所部門「AAA」認定
2014年 エコ事業所部門「S」認定
2015年 エコ事業所部門「S」認定
2015年 「審査員特別賞」受賞

浜松市が2011年に創設したエネルギー使用量の低減に率先的に取り組む事業者をトップランナー事業者として認定し、特に優秀な新エネ・省エネ対策の取り組みを実施している事業者をトップランナー大賞、特徴的な取り組みを実施している事業者を特別賞として表彰する制度

※2017年より再エネ・省エネ事業者認定制度に移行



◆メディア・ユニバーサルデザインコンペティション

2008年 第2回 振り込め詐欺防止啓発ポスター「佳作」受賞
2009年 第3回 おりがみのメディア・ユニバーサルデザイン化「佳作」受賞
2011年 第5回 MUD啓発ポスター「佳作」受賞
2014年 第8回 来日最初のおもてなし 日本式トイレのお作法ポスター「優秀賞」受賞
2015年 第9回 静岡県自転車ルールブック「佳作」受賞
2016年 第10回 洋服のMUD商品タグ「優秀賞」受賞
2019年 第13回 取って覚える 日本の危ない生きものかた「佳作」受賞

全日本印刷工業組合連合会が主催するこのコンペティションの目的は、すべての人に優しく、誰もが快適に利用できることをユニバーサルデザインの考え方に準じ、デザインや文字など、より多くの人に伝わる情報を提供する「メディア・ユニバーサルデザイン(MUD)活動」普及の一貫と、印刷業界において印刷技術の向上を目指すもので、2007年から開催されている



◆静岡県 MUDデザインコンテスト

2014年 第8回 My Allergyカード「最優秀賞(グランプリ)」受賞
2015年 第9回 楽エコごみ箱「優秀賞(準グランプリ)」受賞
2016年 第10回 洋服のMUD商品タグ「優秀賞(準グランプリ)」受賞

静岡県印刷工業組合が主催するこのコンテストは、全ての人に優しく、より多くの人々が快適に利用できることを目的としたユニバーサルデザインの考え方を一歩前進させたMUDの情報を、正確に、平等に、必要とされるものを、だれもが便利で見やすいメディアを提供することを柱として、静岡県民に対してMUD活動の意義と必要性をアピールするために開催されている



24. 認証取得の状況

我が社は、環境に配慮した事業展開をすべく、グリーンプリンティング工場認定制度やエコアクション21の認証・取得等を実施して来ましたが、その内容を紹介します。

◆Japan Color標準印刷認証



Japan Color認証制度は、ISOに準拠し日本のオフセット枚葉印刷における印刷色の標準的な基準であるJapan Colorに基づいて認証を行う制度です。標準印刷認証は、印刷機械のメンテナンスと数値管理によって、安定した品質の印刷物を作成できる工程管理能力等について認証するものです。当社は2015年12月に、より一層の印刷品質向上と安定のために『Japan Color標準印刷認証』を取得しました。

◆エコアクション21 認証制度



エコアクション21
認証番号0000047

エコアクション21は、全ての事業者が、環境への取り組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境に取り組む仕組みを作り、取り組みを行い、それらを継続的に改善し、その結果を社会に公表するための方法について、環境省が策定したガイドラインです。エコアクション21ガイドラインに基づき、取り組みを行う事業者を、審査し、認証・登録する制度が、エコアクション21 認証・登録制度です。最新のガイドライン2017年版では、近年の気候変動リスクなどの環境問題が深刻である今、環境負荷の削減に留まらず企業経営と環境経営を結びつけた取り組みで企業価値の向上を目指すことを重要視しています。当社はいち早くこの取り組みに参加して2004年11月に認証取得しました。

◆グリーンプリンティング工場認定制度(新都田工場)



グリーンプリンティング認定制度は、日本印刷産業連合会が環境問題に対する社会的要求に応え、印刷産業による環境に配慮した製品づくりを推進するため、印刷業界の環境自主基準「印刷サービスグリーン基準」を制定しました。制度には、工場認定・資機材認定・印刷製品認定があります。当社が取得する工場認定は、認定基準に基づき客観的な審査によって環境配慮された印刷工場を認定する制度であり、新都田工場は2007年10月に取得、静岡県内印刷関連産業では初の認定となりました。また、認定工場が製造するグリーン基準に適合した印刷製品に対して、認定マーク(GPマーク)を表示することができ、GPマークを表示することで環境に配慮した製品であることをアピールすることができます。

◆FSC森林認証制度



FSC®(Forest Stewardship Council 森林管理協議会)森林認証制度には、適切な森林管理を認証する「森林管理の認証(FM認証)」と「生産・流通加工工程の管理認証(CoC認証)」があります。CoC(Chain of Custody: 管理の連鎖)認証は、認証された森林から生産された製品が、供給経路のいずれの段階においても、そうでないものと混ざらないことを証明します。FSC®トレードマークは、製造、加工、流通の全ての過程において、認証材が適切に使用されるよう管理されている製品であることを消費者に分かりやすく伝えることができ、生産者から消費者まで「森を守る活動」を実施していることに繋がります。当社は2008年5月にCoC認証を取得しました。

◆全日本印刷工業組合連合会CSR認定制度



CSRとは、Corporate Social Responsibility(企業の社会的責任)の略で、事業活動において利益を追求するだけでなく、お客さまや従業員・地域社会とのさまざまな関係を重視し、影響に責任をもち、適切な意思決定を行なうことを指します。環境・安全・エネルギー・福祉・ライフスタイルなど、企業を取り巻く環境が大きく変化し、社会から求められる様々な要請に応えるCSRが重要視される中、全日本印刷工業組合連合会は、チェック項目の基準となる達成度を認定し、企業の成長・発展を支援する「全印工連CSR認定」を開始しました。当社は2013年に「ワンスター(標準認定)」を取得し、2015年には「ツースター(上位認定)」を取得しました。

◆浜松市企業のCSR活動表彰



浜松市の「企業のCSR活動表彰」とは、浜松市の市民、市民活動団体、事業者及び市が社会を支えることに関心を持ち、行動を起こすという、多様な主体によるまちづくりの実現と、企業による社会貢献活動を広げていくことを目的に、2016年に創設されたCSR活動を積極的に取り組む企業を表彰する制度です。

◆健康経営優良法人2017



健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。当社は2017年度の健康経営優良法人として認定を受けました。



杉山メディアサポートはこれからも全社員一丸となり、積極的に環境活動に取り組んでまいります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちはSDGs(持続可能な開発目標)を支援しています

Sugiyama Media Support Co., Ltd. 杉山メディアサポート株式会社

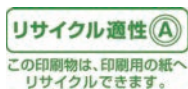
丸塚営業本部 〒435-0046 静岡県浜松市東区丸塚町196-1
TEL 053-467-6000 FAX 053-467-6006

新都田工場 〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目10番2号
TEL 053-484-1171 FAX 053-484-1170

静岡営業所 〒420-0913 静岡県 静岡市葵区瀬名川三丁目1番33号
TEL 054-267-3001 FAX 054-267-3003

東京営業所 〒153-0061 東京都目黒区中目黒1-8-8 目黒F2ビル2階
TEL 03-6412-7661 FAX 03-6412-7662

E-mail : soumu@sugi-p.co.jp (代表/丸塚営業本部 総務部)
URL : <http://www.sugiyama-ms.co.jp/>



この印刷物の資材は全てリサイクル対応型資材を使い、環境に配慮したグリーンプリンティング認定工場印刷しています